

Ⅷ 文化財保護

1. 有形文化財

(1) 建造物

①重文 新垣家住宅主屋ほか6棟 建造物保存修理 事業

事業種別： 国庫補助事業
 事業主体： 新垣和子ほか11名
 事業の目的： 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容： 平成21年度の登り窯解体格納調査事業に引き続き、経年による腐朽の著しい主屋や作業場、離れ等の保存修理を行い完了した。
 事業費総額： 94,400千円

	平成27年度実績額	平成22年度～平成27年度総事業費
市補助額	7,080千円	36,983千円
県補助額	7,080千円	36,982千円
国庫補助額	80,240千円	419,135千円
合計	94,400千円	493,100千円

②重文 津嘉山酒造所施設主屋及び麹屋 建造物保存修理 事業

事業種別： 国庫補助事業
 事業主体： 合資会社 津嘉山酒造所
 事業の目的： 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容： 平成23年度に事業を開始した。平成25年度に引き続き経年と蟻害による木部の腐朽が著しい、主屋兼工場の保存修理を行った。
 事業費総額： 100,000千円

	平成27年度実績額	平成23年度～平成27年度総事業費
所有者負担	5,000千円	9,820千円
市補助額	5,000千円	9,819千円
県補助額	10,000千円	19,639千円
国庫補助額	80,000千円	157,112千円
合計	100,000千円	196,390千円

③重文 豊見親あともま墓及び知利真良豊見親の墓 建造物保存修理 事業

事業種別： 国庫補助事業
 事業主体： 宮古島市
 事業の目的： 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容： 重要文化財の保存修理のため、一部石垣の積み直し修理を実施し完了した。
 事業費総額： 12,202千円

	平成27年度実績額	平成26年度～平成27年度総事業費
市補助額	1,530千円	5,299千円
県補助額	911千円	1,410千円
国庫補助額	9,761千円	26,833千円
合計	12,202千円	33,542千円

④重文 中村家住宅 防災施設等事業

事業種別： 国庫補助事業
 事業主体： 中村 国宏
 事業の目的： 重要文化財防災設備の適正な保存を図る。
 事業内容： 経年による老朽化の著しい防災施設の修繕工事を行い完了した。
 事業費総額： 19,880千円

	平成27年度実績額	平成26年度～平成27年度総事業費
所有者負担	994千円	1,092千円
村補助額	994千円	1,090千円
県補助額	1,988千円	2,181千円
国庫補助額	15,904千円	17,448千円
合計	19,880千円	21,811千円

⑤重文 新垣家住宅主屋ほか3棟 建造物防災施設等事業

事業種別： 国庫補助事業
 事業主体： 新垣和子ほか11名
 事業の目的： 重要文化財防災設備の適正な保存を図る。
 事業内容： 経年による老朽化の著しい防災施設の設計監理を行った。
 事業費総額： 13,374千円

	平成27年度実績額	平成24年度～平成27年度総事業費
所有者負担	8千円	8千円
市補助額	1,338千円	2,531千円
県補助額	1,336千円	2,119千円
国庫補助額	10,692千円	21,883千円
合計	13,374千円	26,541千円

⑥重文 上江洲家住宅 防災施設等事業

事業種別 : 国庫補助事業
 事業主体 : 上江洲 智一
 事業の目的 : 重要文化財防災設備の適正な保存を図る。
 事業内容 : 経年による老朽化の著しい防災施設の設計監理を行った。
 事業費総額 : 4,953千円

	平成27年度実績額
所有者負担	249千円
町補助額	249千円
県補助額	494千円
国庫補助額	3,961千円
合計	4,953千円

⑦重伝建 渡名喜村渡名喜島重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業

事業種別 : 国庫補助事業
 事業主体 : 渡名喜村
 事業の目的 : 伝統的建造物群の適正な保存を図る。
 事業内容 : 下記保存物件の保存修理事業
 桃原家住宅主屋の経年による雨漏り及び外壁腐朽について、屋根改修及び外壁の修理工事を実施した。
 大城家住宅主屋の経年による雨漏り及び外壁腐朽について、屋根改修及び外壁の修理工事を実施した。
 上原家住宅主屋の経年による雨漏り及び外壁腐朽について、屋根改修及び外壁及び雨端柱取替の修景工事を実施した。

事業費総額 : 16,701千円

※この事業はH27年度へ繰り越したため今年度の記載とした。

	平成26年度実績額	平成12年度～平成26年度
村負担額	2,356千円	39,971千円
県補助額	985千円	33,910千円
国庫補助額	13,360千円	356,618千円
合計	16,701千円	430,499千円

(2)美術工芸

①在外沖縄関連文化財調査

事業総額 : 1,157千円
 事業種別 : 県単独事業
 事業主体 : 沖縄県

調査期間 : 平成27年4月1日～3月31日

調査目的 : 琉球王国時代から現在に至るまで、沖縄では数々の優れた価値を有する文化財が生み出されてきたが、様々な理由によって、散逸してしまった。本調査は海外に散逸した、琉球関係の資料を収集することにより、沖縄戦などで失われた文化財を補完し、沖縄文化の体系化の基礎資料作成を目的としている。

事業概要 : 平成26年2月16日から2月19日の期間、在外文化財調査のため中国福建省福州市福建師範大学附属図書館、台湾故宮博物院で調査を行った。

調査員 : 前田舟子 (沖縄大学 日本学術振興会特別研究員PD)

事務局 : 平川信幸 (文化財課 主任)



琉球墓園



閩安鎮

②琉球国王尚家関係資料修復

事業総額：22,000千円（国17,600千円、県981千円、市3,419千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：那覇市

修復期間：平成27年4月28日～平成28年3月24日

修復目的：琉球国王尚家関係資料とは、1995年～1996年に那覇市に寄贈され文書類1,341件、美術工芸品85件をいう。その中から、尚家の個人資料や現代資料を除いた1,166件の尚家文書、並びに85件の美術工芸品が2006年に国宝として指定された。これらの資料は沖縄戦で多くの文化遺産を失った沖縄にとって、近世琉球期の政治・経済・文化、あらゆる面の解明に役立つ、重要な資料群である。

早急に修理・補修を行い、広く展示・公開しなければならないが、文書点数が多いため、損傷状態の診断を行い、より劣悪な状態のものから優的に修復する方針で、12年計画で実施する。

事業概要：前年に引き続き、尚家文書国宝指定分1,166件のうち、国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類38冊の修理もおこなった。

実施体制：文化庁の保存修復方針、国宝修理装演師連盟に委託し、九州国立博物館内の修復工房で修復し、修復後は九州国立博物館で一般公開を行った。



平成27年度修復事業の様子（文書に使用された紙の繊維の確認をしている）

③喜舎場永珣資料 史料調査事業

事業総額：2,500,000（国2,000,000、県144,000、市356,000）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：石垣市

事業期間：平成27年7月1日～平成28年3月31日

事業目的：喜舎場永珣氏が収集保管していた古文書類と、同氏が遺した調査ノート、調査メモ等の整理と調査を行い、郷土の歴史・文化の研究に資することを目的に実施する。

事業概要：平成24年に、喜舎場永珣氏が収集した古文書類や新聞資料、調録音テープ等が石垣市立八重山博物館に寄贈された。本事業では、古文書類の整理、目録作成と、調査ノート・メモ、レコード、録音テープの整理、分類を行うとともに、内容分析等の調査を行う。また、必要に応じ、デジタル化し記録の保存を図る。

実施体制：事業着手後、「喜舎場永珣資料調査会」（仮称）を開催する。

調査会は、年に2回開催を予定し、今年度事業の調査方針や調査方法、調査内容の助言を行う。事業完了前の調査会では、今年度事業の総括と次年度以降の調査方針や計画について審議し、次年度報告書作成に向けた作業に反映させていきたい。

「喜舎場永珣資料調査会」の委員は、地元在住の有識者と県内大学の教授等で構成する。委員は、年二回の調査会で、調査方針、方法、内容等を審議し調査への指導助言を行う。また、地元有識者の委員からは、調査をすすめていくなかで、適宜、指導助言を仰ぐものとする。

八重山博物館学芸員が調査員となり、非常勤職員を調査補助としておく。調査は、調査員と調査補助員で行うものとし、適宜、調査委員の指導助言を仰ぐものとする。

(3)銃砲刀剣類の登録

①沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

*沖縄県教育委員会委嘱(平成26年4月1日から平成28年3月31日)

大嶺 信義 (刀剣研究家)

上原 正人 (刀剣研究家)

兼濱 清周 (刀工)

②登録審査会

日 時:平成28年2月15日(月)13:00~17:00

場 所:沖縄県立埋蔵文化財センター 会議室

審査件数:10件(内訳:刀5、わきざし3、短刀2)

登録証交付件数:5件(内訳:刀2、わきざし2、短刀2)

登録証再交付申請:0件(内訳:刀3)

③登録申請件数及び登録件数

区 分	種 別	申請件数	登録件数	備 考
刀 剣	た ち	0	0	
	刀	2	2	
	わきざし	3	2	
	短 刀	2	2	
	や り	0	0	
古式銃砲	火 縄 銃	0	0	
	その他の古式	0	0	
合 計		7	6	

④証紙出納実績

	審査件数	登録審査手数料	出納実績	備 考
審査手数料(新規登録)	26	6,300円/件	163,800円	
審査手数料(再 交 付)	0	3,500円/件	0円	
制作承認手数料	3	800円/件	2,400円	
合 計			166,200円	

⑤登録を受けた銃砲または刀剣類の譲受け・相続などの届出件数

種 別	銃砲など	刀剣類	計
譲り受け	0	14	14
相 続	0	0	0
貸 付 け	0	0	0
保管の委託	0	0	0
(発見届)	(0)	(14)	(14)
合 計	0	14	14

2. 無形文化財

(1) 芸 能 (伝承者養成事業)

①重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額：7,205千円（国7,000千円、県143千円、保存会62千円）

実施内容：国補助による琉球舞踊保存会直営事業（会長：宮城能鳳）

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：平成27年4月9日～平成28年3月31日

研 修 会：期日、内容等は下記のとおり。

事業趣旨：琉球舞踊の古典舞踊と雑踊について、それぞれの師匠の技を再現し確認することで、琉球舞踊に伝えられる技について演目ごとに理解を深める。
保持者を中心に現在の実演家たちが師事した師匠の技を再現し、流派を越えて学習することを旨とする。

内 容：古典女踊「本貫花」と雑踊「浜千鳥」について、各系統ごとに先達のわざを再現し、技術研修の成果を発表する。発表と有識者の講話を2日間開催。

平成28年1月30日 波照間永吉（顧問）「本貫花と浜千鳥の歌章について」

平成28年1月31日 古波蔵ひろみ「扮装の変遷」

課題演目：古典女踊「本貫」、雑踊「浜千鳥」

琉球舞踊の古典舞踊七踊の研修

ア システムの整理（琉球王国時代の御冠船踊りの芸統をひく7人の先達を基に整理）

現在の琉球舞踊保持者を中心に整理すると下記の通り。 ※ 下線部は物故者

玉城盛重 — ①玉城盛義：玉城節子、玉城秀子、谷田嘉子、金城美枝子、又吉静枝
— ②島袋光裕：島袋光晴、佐藤太圭子
— ③親泊興照：二代目親泊興照
— ④宮城能造：宮城能鳳
— ⑤真境名佳子：宮城幸子、喜納幸子
— ⑥真境名由康：真境名直子（2013年逝去のため、真境名結子と協議）

高原安詩 — ⑦比嘉清子：大城政子
— ⑧田島清郷：志田房子

伝承者を中心に整理すると下記の通り。

新垣松含 — ⑨比嘉澄子
渡嘉敷守良 — ⑩児玉清子 二代目児玉清子・由利子 金城光子 花岡勝子
読谷山親雲上 — ⑪金武良章 安座間明美
川平親雲上 — ⑫阿波連本啓 阿波連蘭子
屋我良勝 — ⑬山田貞子 山内小夜 山内喜美枝

※ 玉城盛重 — 宮城能造 二代目宮城能造
— 田代タカ子 宮城美能留：宮城早苗・園美

イ 研修方法

古典舞踊については、現在の琉球舞踊保持者の技の源流である玉城盛重と高原安詩について、8つ（上記の①～⑧）のグループに分ける。琉球舞踊保持者に担い手がいない読谷山親雲上、新垣松含、屋我良勝、川平親雲上、渡嘉敷守良の5人の師匠の技について5つ（⑨～⑬）に分けて研修を実施する。ただし、渡嘉敷守良流のみ、古典女踊「本貫花」の曲構成が違うためが独立させる。

あわせて演目についての有識者の講話を実施する。

- a 「琉球舞踊について」：5月30日 鈴木耕太（コーディネーター）
- b 「本貫花と浜千鳥の詞章について」：1月30日 波照間永吉（顧問）
- c 「扮装の変遷」：1月31日 古波蔵ひろみ

平成26年度より実技研修に重きをおき、各分野より選ばれた選抜研修生（約100名）と、一般研修生（約400名）に分ける。

選抜研修生には9月の実技研修、および1月、2月の成果発表会への出演を課す。実技研修は稽古着だが、成果発表会は衣装着用・拵（こしら）えあり。

その他の一般研修生は、2月の全員研修にて保持者の前で課題演目の演舞を行う（稽古着・拵えなし）。

ウ 演目：平成27年度は、古典舞踊「本貫花」 雑踊「浜千鳥」

エ 研修回数

平成27年度は以下の7回の研修を行う。

- a 開講式（5月30日）※全員対象
 - b 選抜研修（9月26・27日）※選抜者対象
 - c 成果発表会および講話（1月30日・31日）※出演は選抜者、出席は全員対象
 - d 実技発表会（2月20日・21日）※全伝承者対象（選抜者を除く）
- 選抜者は2回（9月26日・27日）の研修を行い、その成果を踏まえて2回の成果発表公演（平成28年1月30日・31日）を実施する。
- ※ 衣装、化粧、道具等についても師からの教を再現する。
 - ※ 研修成果発表会は一般観客にも披露する。

選抜者実技研修会「本貫花」「浜千鳥」

趣 旨：琉球舞踊について理解を深め、技の研鑽を行う。

日 時：平成27年9月26日（土）・27日（日） 10時00分～13時30分

会 場：国立劇場おきなわ 大稽古室

対 象 者：平成27年度 選抜研修生 ※13グループ

服 装：稽古着

参加方法：①選抜研修生が「本貫花」「浜千鳥」を踊り、全保持者が評価する。

②場当たりを、各グループ5分行い、その後連続して、その場で発表を行う。

③舞踊家は、各自の手で踊る。

評価方法：全保持者で行う。

出演選抜研修生（○印は、地謡リーダー）

①グループ

親泊本流（親泊洋子）・親泊流（比嘉幸子）

[地謡] 野村流音楽協会A

歌三線：○島袋功・西村正吉・宮城厚博・吉元博昌

箏：石川洋子（興陽会） 笛：真地利尚 胡弓：崎原盛勇 太鼓：儀間マサエ

②グループ

玉城流玉扇会（与座京子・島由美子・佐久川順子・比嘉光子・鉢嶺初江）

玉城流七扇会（上地美智子）

[地謡] 野村流音楽協会B

歌三線：○城間盛秋・真栄喜清次・平良春吉

箏・松川加代子（興陽会） 笛：崎原盛次 胡弓：当真嗣友 太鼓：護得久枝美

③グループ

玉城流翔節会（島尻ひさみ・金城末子・神山典子・平良恵子・安里タマ子）

玉城流いずみ会（又吉聖子）

[地謡] 琉球古典音楽野村流保存会A

歌三線：○金城タケ子・浦崎清子・神谷三枝子・池原三致子

箏：大城チヨ子（興陽会） 笛：照屋正 胡弓：祖堅信義 太鼓：神山常夫

④グループ

玉城流扇寿会（大嶺園子・金城弘子・山川昭子・平田真智子）

[地謡] 琉球古典音楽野村流保存会B

歌三線：○渡久山英男・新垣浩・渡久山春憲・泉川寛

箏：仲松恒子（興陽会） 笛：宮城英夫 胡弓：森田夏子 太鼓：儀間マサエ

⑤グループ

宮城本流鳳乃會（嘉手苺幸代・比嘉侑子・諸見里春代）

[地謡] 野村流音楽協会A

歌三線：○島袋功・西村正吉・宮城厚博・吉元博昌

箏：石川洋子（興陽会） 笛：真地利尚 胡弓：崎原盛勇 太鼓：護得久枝美

⑥グループ

島袋本流紫の会（山里孝子・比嘉睦江・花城江美子）

[地謡] 琉球古典音楽野村流保存会A

歌三線：○金城タケ子・浦崎清子・神谷三枝子・池原三致子

箏：大城チヨ子（興陽会） 笛：照屋正 胡弓：森田夏子 太鼓：神山常夫

⑦グループ

真踊流（入嵩西道子・翁長律子・喜納かおり）

[地謡] 琉球古典音楽野村流伝統音楽協会A

歌三線：○仲宗根盛次・前原信喜・山城充幸・潮平浩佑

箏：高江洲初子（興陽会） 笛：座波雪子 胡弓：玉那覇昌子 太鼓：久志大樹

⑧グループ

太圭流華の会（孤島丘奈）

[地謡] 琉球古典音楽野村流伝統音楽協会B

歌三線：○中村昌光・宮平光英・新垣和則・謝敷アンヘル・國吉啓介
箏：城間良子（保存会） 笛：宇保朝輝 胡弓：宇江城栄 太鼓：久志大樹

⑩グループ

重踊流（砂邊美智子）

[地謡] 琉球古典音楽安富祖流絃聲会B

歌三線：○瑞慶覧長仁・幸喜信明・宮里政栄・島袋朝夫

箏：中村ゆり子（保存会） 笛：入嵩西諭 胡弓：石川清二 太鼓：宮里和希

⑪グループ

安座間本流（新垣満子）・貞扇本流（山内小夜）

[地謡] 琉球古典音楽野村流伝統音楽協会A

歌三線：○仲宗根盛次・前原信喜・山城充幸・潮平浩佑

箏：高江洲初子（興陽会） 笛：座波雪子 胡弓：玉那覇昌子 太鼓：久志大樹

⑫グループ

宗家眞境名本流（比嘉さつき）・松含流（山城小百合）・渡嘉敷流あけぼの乃会（花岡尚子）

[地謡] 琉球古典音楽安富祖流絃聲会A

歌三線：○新垣安弘・松本紀・上原睦三

箏：新垣宜子（保存会） 笛：入嵩西諭 胡弓：嶺井敦弘 太鼓：場秀治

⑬グループ

渡嘉敷守良流（児玉由利子）

[地謡] 琉球古典音楽安富祖流絃聲会B

歌三線：○瑞慶覧長仁・幸喜信明・宮里政栄・島袋朝夫

箏：中村ゆり子（保存会） 笛：入嵩西諭 胡弓：石川清二 太鼓：宮里和希

※ ⑨グループは、ケガのため欠席

伝承者技能発表会「本貫花」「浜千鳥」

研修内容：琉球舞踊保存会伝承者 実技研修

目的：平成27年度研修で学んだ「本貫花」「浜千鳥」の成果を踏まえ、日頃の研鑽の成果を発表する。

日時：平成28年2月20日（土）・21日（日） 10時00分～16時30分（9時30分開場）

会場：国立劇場おきなわ 大稽古室

対象者：平成27年度 一般研修生（24グループ）

服装：稽古着

参加方法：ア 全伝承者（今年度選抜研修生を除く）が「本貫花」「浜千鳥」を踊り、全保持者が評価する。

イ 場当たりを、各グループ5分行い、その後連続して、その場で発表を行う。

ウ 舞踊家は、各自の手で踊る。（事前に質問票にて申告済）

評価方法：全保持者で行う。

1日目（2月20日）

- ①グループ 玉城流玉扇会・玉城流七扇会
- ②グループ 宮城流美能留会・朱日流、他
- ③グループ 眞境名本流・道扇流道扇会
- ④グループ 太主流華の会・藤の会
- ⑤グループ 渡嘉敷流守藝の會・渡嘉敷流あけぼの乃会
- ⑥グループ 渡嘉敷守良流
- ⑦グループ 玉城流翔節会
- ⑧グループ 大城流寿乃会、他
- ⑨グループ 島袋流千尋会、世舞会、他
- ⑩グループ 柳清本流・眞南風流
- ⑪グループ 重踊流
- ⑫グループ 阿波連本流・啓扇本流船乃会

2日目（2月21日）

- ⑬グループ 玉城流扇寿会
- ⑭グループ 玉城流七扇敏風会、他
- ⑮グループ 宮城本流鳳乃會
- ⑯グループ 宗家眞境名本流
- ⑰グループ 安座間本流
- ⑱グループ 無憂華の会、他
- ⑲グループ 眞踊流
- ⑳グループ 島袋本流紫の会
- ㉑グループ 親泊本流・親泊流

- ②グループ 松含流
- ③グループ 宮城流・宮城元流・山田流球美之会
- ④グループ 玉城流いずみ会・玉城流てだの会

②選定保存技術「結髪（沖縄伝統芸能）」伝承者養成事業

事業総額：1,224千円（国1,106千円、県58千円、保持者60千円）

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：古波蔵佐紀（雅号 小波則夫）

伝承者：古波蔵ひろみ 田口博章

事業期間：平成27年4月9日～平成28年3月31日

場 所：自宅工房

事業内容：結髪（沖縄伝統芸能）は、沖縄の伝統芸能で役柄に相応しい伝統的な髪を結い上げる技術である。

(1) 結髪伝承者養成事業として、2名の伝承者に対し、25日間の研修を実施した。

(2) 結髪技術普及のためのリーフレット、並びに結髪の技術伝承のための教則ビデオを作成（作製）した。

(1) 伝承者養成事業

今期は、組踊の花形である若衆の髪型「端結い」を習得させた。「端結い」は、女兒が4歳から5歳まで、男児は4歳から7歳ころまで結う、男女児共通の髪型である。組踊や琉球舞踊等で汎用される幼児の髪型として特徴的である。年齢の区分や飾りの変容も含め教授した。あどけなさを表現する髪型として、赤いカシレーと称する組紐状の飾りをつけるなど、結び方等も教授した。

(2) 記録の作成及び刊行事業

技術普及のためのリーフレットと、技術伝承のための教則ビデオを作成した。

③選定保存技術「組踊道具・衣裳製作修理」伝承者養成事業

事業総額：7,201千円（国7,000千円、県93千円、保存会108千円）

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業主体：組踊道具・衣裳製作修理技術保存会

技術者：道具 金城裕幸 新垣孝 平田智之 上原じゅん子

伝承者：道具 渡邊優子 名渡山也子 金城小百合 清武政秀 新垣克
城間貞光 城間静江戸

事業期間：平成27年4月9日～平成28年3月31日

場 所：各技術者の工房

事業内容：組踊道具・衣裳製作修理は、沖縄の伝統芸能である「組踊」で使用される各種の道具と、各役柄に応じた伝統的な衣裳を製作し、修理する技術であり、国の重要無形文化財「組踊」の保存に欠くことはできない。

(1) 道具：組踊道具の製作をした。技術者の4名で、伝承者の7名を指導し、合計465回の研修を行った。

ア 講師：金城裕幸 新垣孝 平田智之 上原順子

イ 伝承者：渡邊優子 佐渡山也子 金城小百合 清武政秀 新垣克 城間貞光 城間静江戸

(2) 技能、技術の錬磨

県内外にある作品・素材・技術（舞台公演を含む）を見学し、それぞれの知識を高め作品・技術に反映させた。

④県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業

事業総額：1,125千円（県648千円、保存会477千円）

実施方法：県補助による琉球歌劇保存会直営事業（会長：平良進）

事業内容：歌劇「想い」作・伊良波尹吉、歌劇「情無情」作・伊良波尹吉を、技能保持者の指導のもと、18名の伝承者が研修し、その成果を発表した。

事業期間：平成27年10月10日（土）～平成27年12月15日（火）

研 修：平成27年10月10日（土）～平成27年12月15日（火）

発表会：平成27年12月15日（火） 18:30（開演）

場 所：沖縄市民小劇場あしびなー

研修期間：11日（研修発表会も含む）

指導者：泉賀寿子 伊良波冴子 久高将吉 平良進 瀬名波孝子 仲宗根盛次 中曾根律子
真榮田文子 宮良良子 吉田妙子 与座朝惟 与座ともつね 与座喜美子

研修者：赤嶺啓子 糸数きよし 上間朝子 大城幸雄 叶都美恋 嘉陽田朝裕 金城真次
金城清徳 小嶺和佳子 座喜味米子 高宮城実人 立花愛希 知念亜希 知念勝二
中村志津子 前川勝子 平安山千桜 山川宗春

⑤ 県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業

事業総額：300千円（県100千円、保存会200千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業（会長：照屋勝義）

事業内容：伝承者養成研修会を実施し、保持者による技能指導を行い、研修発表会を実施した。

事業期間：平成27年9月13日～平成28年3月27日

(1) 研修会

ア 開催日：平成27年9月13日

場 所：沖縄市民会館

参加人数：137人

研修内容：長ちゃんな節、伊集早作田節、長伊平屋節、東江節、本調子仲風節

イ 開催日：平成27年11月29日

場 所：北谷町商工会ホール

参加人数：115人

研修内容：仲節、清屋節、今風節、中作田節、十七八節、本花風節

(2) 研究会発表会

開催日：平成28年3月27日

参加人数：310人

発表内容：保持者・伝承者斉唱、独唱、舞踊

(3) 指導者：玉城政文 照屋勝義 國吉正康

⑥ 県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業

事業総額：308千円（県100千円、保存会208千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業（会長：照喜名朝一）

事業内容：保持者の指導による伝承者養成研修会を実施した。また、文化的知識を深め、資質の向上を図る目的に専門家、研究家講師を招聘し特別講演会を実施した。

事業期間：平成27年4月28日～平成28年3月31日

（伝承者研修会 第4日曜日 10:00～12:00 又は 13:00～15:00）

(1) 特別講演会（保持者・伝承者研修）

日 時：平成27年6月28日（日）11:00～12:00

講 師：宜保榮治郎 氏

講話内容：「沖縄伝統芸能に対する要望」

場 所：国立劇場おきなわ大稽古室

(2) 研究会・研修会

ア 保持者研究会 毎月1回 第4日曜日 10:00～12:00

テーマ：「伝統音楽の研究」

イ 伝承者研修会 毎月1回 第4日曜日 10:00～12:00

テーマ：「伝統音楽の研究」

回数	開催日	内容・研修場所	備考
1	5月24日	定例研修会 ちゃんな節 十七八節 国立劇場おきなわ中稽古室	研修指導 保持者
2	6月28日	定例研修会 作田節 昔蝶節 国立劇場おきなわ大稽古室	研修指導 保持者
		特別鑑賞会 「沖縄伝統音楽に対する要望」 国立劇場おきなわ大稽古室	講師 宜保榮治郎
3	7月26日	定例研修会 安富祖流工工四上巻p1～p29 真玉橋公民館	研修指導 保持者
4	8月23日	定例研修会 安富祖流工工四上巻p30～p53 国立劇場おきなわ中稽古室	研修指導 保持者
5	9月27日	定例研修会 安富祖流工工四上中巻p54～p86 真玉橋公民館	研修指導 保持者
6	10月25日	定例研修会 作田節 今風節 組踊「二同敵討」より2～3節 国立劇場おきなわ中稽古室	研修指導 保持者
7	11月22日	定例研修会 諸鈍節 十七八節 組踊「銘苺子」より2～3節 真玉橋公民館	研修指導 保持者
8	12月27日	定例研修会 師範・教師 課題曲 組踊「孝行の巻」より2～3節 真玉橋公民館	研修指導 保持者

回数	開催日	内容・研修場所	備考
9	平成28年 1月24日	定例研修会 師範・教師 課題曲 組踊「花売り縁」より2～3節 国立劇場おきなわ中稽古室	研修指導 保持者
10	2月28日	定例研修会 師範・教師 課題曲 真玉橋公民館	研修指導 保持者
11	3月27日	今年度のおさらい 国立劇場おきなわ大稽古室	研修指導 保持者

⑦県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

事業総額：300千円（県100千円、保存会200千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業（会長：赤嶺弘子）

事業内容：保持者の指導による伝承者養成研修会（3回）、並びに実演家による特別講演会を実施し、技能の向上と沖縄の伝統音楽についての理解を深めた。

事業期間：平成27年7月1日～平成28年3月31日

- (1) 研修会：第1回 平成27年7月8日（土） 109名参加
第2回 平成27年10月21日（水） 98名参加
第3回 平成28年3月19日（土） 107名参加

場 所：国立劇場おきなわ 大稽古室

指導者：赤嶺弘子 山内好子 山田和子 仲宗根巴津美

- (2) 特別講演会

日 時：平成28年3月19日（土水）

場 所：国立劇場おきなわ大稽古室

講 師：當間一朗 氏

演 題：「琉球古典芸能の魅力～琉球箏曲の継承と想像を～」

伝承者：仲眞竹子 儀間武子 許田恵美子 具志堅孝子 大道タケ子 名嘉ヨシ子 神谷和枝

上地律子 知念佐竹子 手登根廣美 久田ヨシ子 平良マサエ 上間千枝子

中村美智子 城間良子 具志堅初美 比嘉博明 新田邦子 松田勝子 宇良タカ子

崎原のり 高江洲初子 野村時子 玉城弘子 名嘉真直子 仲間頼子 澤岷京子

新垣晴子 仲村貞子 美里登喜子 仲本泰子 仲宗根直子 中村富子 上間節子

名嘉ハツ 波平エミ子 伊波治代子 諸見里キミ 牧港和子 山川幸子 中山民子

米須幸子 比嘉敏江 与座末子 高江洲順子 佐渡山久江 久手堅直子 宮城秀子

神谷宏美 宮城ミサ子 宮里秀明 翁長ミサ子 新本澄子 比嘉良子 比嘉美恵子

桃原和枝 松永敬子 末吉弘子 大城清子 仲村和子 喜屋武初江 山城真理子

金城君江 知名初江 渡久地美智子 天久洋子 稲福明子 稲福貴子 上地アキ子

宇根和子 大嶺トシ子 奥原幸子 我部米子 具志堅道子 下地睦子 下里恵

諸見田恵子 玉城俊子 田島美智子 玉城久子 玉城明子 知念千香子 知念利恵子

友寄千枝子 當間公子 渡久地タマ 中山清子 長浜まさ子 仲宗根玲子 仲村渠道子

辺土名規子 外當光子 前川美也子 宮城裕子 屋良敏子 山田愛 與儀博子

新垣末子 赤嶺スエ子 新垣照子 新崎每子 石嶺達子 伊波敏子 糸数君江

伊良皆順子 上原幸子 大城恵津子 岳原美智子 川平京子 国吉裕子 潮平信子

島袋節子 島尻郁江 平良久枝 知念英子 知花初子 知名幸子 照屋貞子

當山早苗 仲村ハル子 中村ゆり子 真喜志美奈子

(2) 芸 能（組踊等普及啓発事業）

①組踊特別鑑賞会（全国公演）・・・国庫補助事業

趣 旨：全国各地で重要無形文化財「組踊」を鑑賞する機会を設け、その一層の普及・伝承を図る。

普及公演：組踊を広く一般に周知するため、全国6カ所で公開する。

事業主体：一般社団法人伝統組踊保存会

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業内容：組踊1題、琉球舞踊4題を上演し、組踊の概要等を比嘉均（県教育庁文化財課指導主事）が解説した。字幕を投影し、演目解説書を観客に配布した。

開催地、開催日時及びプログラムは次のとおりである。

ア 東京都狛江市 狛江エコルマホール 平成27年7月18日（土） 午後2時開演
主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会
一般財団法人狛江市民文化振興事業団

共催／狛江市 狛江市教育委員会

第1部：琉球舞踊「老人老女」安次嶺浩和・大湾三瑠 「若衆こてい節」親泊久玄・東江裕吉
「下り口説」前當正雄 「天川」眞境名律弘

第2部：組踊「御佐丸敵討」

〔配役〕あまおへ（親泊興照）、鶴松（親泊久玄）、亀千代（東江裕吉）、母（眞境名律弘）
供1（安次嶺浩和）、供2（前當正雄）、供3（大湾三瑠）
きやうちやこ持（當山力）

〔地謡〕歌・三線（中村一雄、山城暁、前原信喜、糸数昌治）

箏（名嘉ヨシ子）、笛（真地利尚）、胡弓（新城清弘）、太鼓（国場秀治）

イ 大分県日田市 パトリア日田（日田市文化会館）大ホール 平成27年8月8日（土）午後2時半開演

主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 日田市民文化会館「パトリア日田」

後援／日田市 日田市連合育友会

第1部：琉球舞踊「老人老女」金城清一・儀保政彦 「若衆こてい節」上原信次・宮城昭博
「下り口説」玉城盛儀 「天川」宮城茂雄

第2部：組踊「花売の縁」

〔配役〕森川の子（玉城盛義）、乙樽（宮城茂雄）、鶴松（大城黎旺）、猿引（儀保政彦）
猿（神谷武之心）、薪取（神谷武史）、黒子1（上原信次）、黒子2（宮城昭博）

〔地謡〕歌・三線（西江喜春、仲嶺伸吾、花城英樹）

箏（宮城秀子）、笛（大湾清之）、胡弓（銘苺春政）、太鼓（比嘉聰）

ウ 栃木県栃木市 栃木市栃木文化会館大ホール 平成27年9月19日（土）午後2時開演

主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 栃木市 栃木市教育委員会

第1部：琉球舞踊「老人老女」宮里徹雄・金城陽一 「若衆こてい節」玉城匠・上原信次
「下り口説」稲福清彦 「天川」海勢頭あける

第2部：組踊「護佐丸敵討」

〔配役〕あまおへ（眞境名正憲）、鶴松（玉城匠）、亀千代（上原信次）
母（海勢頭あける）、供1（宮里徹雄）、供2（糸満盛幸）、供3（金城陽一）
きやうちやこ持（稲福清彦）

〔地謡〕歌・三線（照喜名朝一、玉城正治、照喜名朝國、上原睦三、糸数昌治）

箏（高良時江）、笛（宇保英明）、胡弓（川平賀道）、太鼓（喜舎場盛勝）

エ 岡山県勝央町 勝央文化ホール 平成27年11月1日（日）午後2時開演

主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 勝央町 勝央町教育委員会

後援／岡山県教育委員会 公益法人美作学術文化振興財団 勝央町文化協会

第1部：琉球舞踊「老人老女」高江洲清勝・石川直也 「若衆こてい節」川満俊祐・佐喜眞一輝
「下り口説」宮城茂雄 「天川」名嘉正光

第2部：組踊「万歳敵討」

〔配役〕高平良御鎖（島袋光尋）、謝名の子（宇座仁一）、慶雲（宮城茂雄）
高平良の妻（金城陽一）、高平良の娘（佐喜眞一輝）、列女1（名嘉正光）
列女2（川満俊祐）、御鎖供1（山入端實）、御鎖供2（高江洲清勝）
きやうちやこ持（前當正雄）

〔地謡〕歌・三線（喜瀬慎仁、宮城康明、大湾朝重、末吉政利）

箏（上地尚子）、笛（嘉数世勲）、胡弓（稲嶺一夫）、太鼓（金城盛松）

オ 岩手県奥州市 奥州市文化会館（Zホール）大ホール 平成28年1月31日（日）午後2時開演

主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 一般財団法人奥州市文化振興財団

後援／奥州市

第1部：琉球舞踊「老人老女」嘉手苺林一・前當正雄一 「若衆こてい節」嘉数道彦・天願雄一
「下り口説」池間隼人 「天川」田口博章

第2部：組踊「執心鐘入」

〔配役〕中城若松（嘉数道彦）、宿の女（田口博章）、座主（嘉手苺林一）
小僧1（天願雄一）、小僧2（池間隼人）、小僧3（前當正雄）、黒子（玉城匠）

〔地謡〕歌・三線（前川朝文、砂辺孝真、玉城利和、金城幸浩）

箏（上地七恵）、笛（仲田治巳）、胡弓（祖堅信義）、太鼓（與那覇徹）

カ 宮城県多賀城市 多賀城市民会館ホール 平成28年2月27日（土）午後2時開演

主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 多賀城市 多賀城市教育委員会

多賀城市文化センター指定管理者

後援／宮城県教育委員会

第1部：琉球舞踊「老人老女」金城清一・宇座仁一 「若衆こてい節」石川直也・呉屋智
「下り口説」伊野波盛人・仲村圭央 「天川」新垣悟

第2部：組踊「護佐丸敵討」

〔配役〕中城若松（石川直也）、宿の女（新垣悟）、座主（宇座仁一）
小僧1（伊良波盛人）、小僧2（仲村圭央）、小僧3（呉屋智）、黒子（田口博章）

[地謡] 歌・三線（照屋勝義、銘苺盛隆、新地孝一、島袋力）
箏（山内照子）、笛（知念久光）、胡弓（崎原盛勇）、太鼓（宇座嘉憲）

②児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会・・・県単独事業

趣 旨：児童生徒に郷土芸能への理解と関心を深めさせ、組踊等沖縄伝統芸能の県内への普及啓発を図るとともに、若手実演家の活動機会を増やすことによって、後継者の育成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、一般社団法人伝統組踊保存会に事業委託

事業内容：上演演目：組踊（執心鐘入）あるいは沖縄芝居及び沖縄伝統芸能（琉球舞踊）

解 説：演目解説書を児童生徒全員に配布し、演目概要等の紹介

ワークショップ（WS）：希望する学校にて実施

実演団体：一般社団法人 伝統組踊保存会

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり。

ア 鑑賞校（鑑賞人数）：石嶺小学校（839人）

日 時：平成27年11月18日（水） 午後2時開演

会 場：石嶺小学校体育館

第1部：琉球舞踊「かぎやで風」安次嶺浩和 「若衆こてい節」宮城昭博・上原信次
「上り口説」名嘉正光 「かせかけ」田口博章

第2部：沖縄芝居①「棒しばり」

[配役] 主人（宇座仁一）、太郎（嘉数道彦）、三良（具志幸大）
カミジャー（宮城茂雄）

沖縄芝居②「仲直り三良小（なかなおりさんらーぐわー）」

[配役] 主人（石川直也）、母（玉城千枝）、三良小（翁長俊輔）

[地謡] 歌・三線（新垣俊道、喜納吏一）、箏（米須弥生）、笛（我那覇常允）
胡弓（又吉真也）、太鼓（國場秀治）

イ 鑑賞校（鑑賞人数）：崎本部小学校、瀬底小学校、上本部小学校（199人）

日 時：平成27年12月1日（火） 午後2時開演

会 場：本部町中央公民館

解説及びワークショップ：知花小百合

第1部：琉球舞踊「かぎやで風」宮里徹雄・大城常政 「若衆こてい節」玉城匠
「下り口説」糸満盛幸 「かせかけ」田口博章

第2部：組踊「執心鐘入」・・・立ち方指導（嘉手苺林一）・地謡指導（前川朝文）

[配役] 若松（玉城匠）、宿の女（田口博章）、座主（嘉手苺林一）、

小僧1（宮里徹雄）、小僧2（糸満盛幸）、小僧3（大城常政）、後見（神谷加奈子）

[地謡] 歌・三線（前川朝文・前原信喜・謝敷アンヘル）、箏（野里葉子）

笛（仲田治巳）、胡弓（石川清二）、太鼓（神山常夫）

ウ 鑑賞校（鑑賞人数）：宜野座高等学校（351人）

日 時：平成27年12月4日（金）

会 場：宜野座村文化センターがらまんホール

解説及びワークショップ：知花小百合

第1部：琉球舞踊「かぎやで風」金城清一・前當正雄 「若衆こてい節」新垣悟
「下り口説」宮城昭博 「かせかけ」石川直也

第2部：組踊「執心鐘入り」「立ち方指導」金城清一 「地謡指導」山城 暁

[配役] 若松（新垣悟）、宿の女（石川直也）、座主（金城清一）、

小僧1（山入端 實）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（前當正雄）、後見（浦崎えりか）

[地謡] 歌・三線（島袋 功・吉元博昌・崎濱秀光）、箏（山城真理子）、笛（真地利尚）

胡弓（祖堅信義）、太鼓（宇座嘉徳）

③組踊等教育普及事業・・・沖縄県特別推進交付金事業

趣 旨：日常生活において、組踊等沖縄の無形文化財（芸能）を鑑賞する機会の少ない児童・生徒に対し、これを公演し観賞させることによって、郷土の無形文化財（芸能）への理解と関心を深めさせ、これを保存継承する社会的基盤の形成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、平成27年度「組踊等教育普及事業」共同事業体に事業委託

実演団体：平成27年度「組踊等教育普及事業」共同事業体

代表者：一般社団法人 オキナワステージプラン

構成員：沖縄伝統組踊「子の会」

構成員：有限会社インターメディア

事業内容：上演演目：組踊（執心鐘入）及び沖縄伝統芸能（琉球舞踊）

解 説：演目解説書を児童生徒全員に配布し、演目概要等の紹介

ワークショップ（WS）：希望する学校にて実施

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり。

- ア 伊平屋村立伊平屋中学校
【鑑賞会】 日 時：平成27年12月8日（火）8:40～10:10
 場 所：伊平屋村産業支援センター
 鑑賞人数：56人
 出演者：
 [立方] 若松（玉城匠）、宿の女（佐辺良和）、座主（川満香多）
 小僧1（上原崇弘）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（新垣悟）
 後見・解説（岸本隼人）
 [地謡] 歌・三線（玉城和樹・喜納吏一・仲尾勝成）、箏（池間北斗）
 笛（入嵩西諭）、胡弓（平良大）、太鼓（久志大樹）
- イ 伊是名村立伊是名中学校
【鑑賞会】 日 時：平成27年12月9日（水）14:00～15:30
 場 所：伊是名中学校体育館
 鑑賞人数：56人
 出演者：
 [立方] 若松（玉城匠）、宿の女（金城真次）、座主（上原崇弘）
 小僧1（佐喜眞一輝）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（新垣悟）
 後見・解説（岸本隼人）
 [地謡] 歌・三線（玉城和樹・喜納吏一・仲尾勝成）、箏（池間北斗）
 笛（入嵩西諭）、胡弓（平良大）、太鼓（久志大樹）
- ウ 座間味村立慶留間小中学校、阿嘉小中学校
【鑑賞会】 日 時：平成27年12月15日（火）10:50～12:20
 場 所：慶留間小学校体育館
 鑑賞人数：24人（慶留間小中学校12人、阿嘉小中学校12人）
 出演者：
 [立方] 若松（上原信次）、宿の女（玉城匠）、座主（川満香多）
 小僧1（池間隼人）、小僧2（嘉数幸雅）、小僧3（新垣悟）
 後見・解説（岸本隼人）
 [地謡] 歌・三線（玉城和樹・大城貴幸・仲尾勝成）、箏（池間北斗）
 笛（入嵩西諭）、胡弓（平良大）、太鼓（横目大通）
【W S】 日 時：平成27年12月15日（火）8:40～9:25
 場 所：慶留間小学校体育館
 受講人数：12人（慶留間小学校体育館12人）
- エ 久米島町立清水小学校、大岳小学校、西中学校
【鑑賞会】 日 時：平成27年12月22日（火）14:00～15:30
 場 所：具志川農村環境改善センター
 鑑賞人数：258人（清水小学校90人、大岳小学校33人、西中学校135人）
 出演者：
 [立方] 若松（岸本隼人）、宿の女（佐喜眞一輝）、座主（上原崇弘）
 小僧1（石川直也）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（玉城匠）
 後見・解説（佐辺良和）
 [地謡] 歌・三線（新垣俊道・大城貴幸・仲尾勝成）、箏（池間北斗）
 笛（入嵩西諭）、胡弓（玉城和樹）、太鼓（宮里和希）
【W S】 日 時：平成27年12月21日（月）14:05～14:50
 場 所：清水小学校
 受講人数：30人（清水小学校4年生30人）
- オ 宮古島市立西城中学校、平良中学校、鏡原中学校、南小学校
【鑑賞会】 日 時：平成28年1月20日（火）14:00～15:30
 場 所：マティダ市民劇場
 鑑賞人数：700人（西城中学生31人、平良中学校530人、鏡原中学校53人、
 南小学校86人）
 出演者：
 [立方] 若松（玉城匠）、宿の女（金城真次）、座主（川満香多）
 小僧1（天願雄一）、小僧2（佐喜眞一輝）、小僧3（新垣悟）
 後見・解説（岸本隼人）
 [地謡] 歌・三線（大城貴幸・喜納吏一・仲尾勝成）、箏（池間北斗）
 笛（入嵩西諭）、胡弓（玉城和樹）、太鼓（宮里和希）
【W S】 日 時：平成28年1月19日（火）13:50～14:40
 場 所：西城中学校
 受講人数：19人（西城中学校1年生19人）

カ 石垣市立大浜小学校、川平小中学校

場 所：大浜公民館

【鑑賞会】日 時：平成28年2月9日（火）14:00～15:30

場 所：大浜公民館

鑑賞人数：126人（大浜公民館107人、川平中学校19人）

出演者：

[立方] 若松（岸本隼人）、宿の女（佐喜眞一輝）、座主（上原崇弘）
小僧1（池間隼人）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（上原信次）
後見・解説（川満香多）

[地謡] 歌・三線（玉城和樹・喜納吏一・仲尾勝成）、箏（池間北斗）
笛（入嵩西諭）、胡弓（森田夏子）、太鼓（久志大樹）

【W S】日 時：平成28年2月9日（月）14:00～14:45

場 所：大浜小学校

受講人数：55人（大浜小学校6年生55人）

キ 竹富町立小浜小中学校

【鑑賞会】日 時：平成28年2月10日（水）13:30～15:00

場 所：小浜小中学校体育館

鑑賞人数：48人（小学生36人、中学校12人）

出演者：

[立方] 若松（金城真次）、宿の女（佐辺良和）、座主（川満香多）
小僧1（新垣悟）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（玉城匠）
後見・解説（岸本隼人）

[地謡] 歌・三線（新垣俊道・喜納吏一・大城貴幸）、箏（仲大千咲）
笛（入嵩西諭）、胡弓（平良大）、太鼓（久志大樹）

【W S】日 時：平成28年2月10日（水） 8:40～ 9:25 小1～4年生 25人
9:30～10:20 小5～中3生 23人

場 所：小浜小中学校

受講人数：48人

ク 竹富町立船浦中学校、西表小中学校

【鑑賞会】日 時：平成28年2月19日（金）13:30～15:00

場 所：西表島 中野わいわいホール

鑑賞人数：55人（船浦中学校25人、西表小中学校30人）

出演者：

[立方] 若松（岸本隼人）、宿の女（佐辺良和）、座主（川満香多）
小僧1（上原崇弘）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（玉城匠）
後見・解説（天願雄一）

[地謡] 歌・三線（仲村逸夫・玉城和樹・仲尾勝成）、箏（仲大千咲）
笛（横目大哉）、胡弓（大濱麻未）、太鼓（横目大通）

(3)工芸技術

①重要無形文化財の伝承者養成事業

ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：7,597千円(国 7,000千円、県 150千円、村 436千円、保存会 11千円)

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会(会長：平良敏子)

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①技能保持者5人、修了生7名で、平成26年度までの受講生7名と新人1名を対象に個人個人の熟練度に応じた技術指導を実施した。本年度行った技術は以下の通り。

- 1) 芯止め・葉打ち、2) 苧倒し・苧引き・苧炊き、3) 緋結び、4) 染色、
- 5) 撚り掛け、6) 整経、7) 製織、8) 洗濯・仕上、9) 苧績み

講師：平良敏子(染色、芯止め、葉打ち、製織)、平良美恵子(芯止め、葉打ち、撚り掛け、整経、製織、苧倒し・苧炊き、苧引き、苧清掃)、辺土名加代子(緋結び、芯止め、葉打ち)、平良京子、宮城涼子、山城雪枝(苧倒し・苧炊き、苧引き)、山城洋子(製織)、當眞廣子(洗濯)、荻堂多美子(苧引き)

伝承者：大城絹恵(8)、吉田木綿(8)、加藤泉(5)、前田明子(3)、稲福和歌子(2)、山城薫(1)、神谷美香(1)

* 伝承者氏名に続く()内の数字は受講回数を示す。以下同様。

事業期間：平成27年6月8日～平成28年3月22日

場所：大宜味村立芭蕉布会館

②全重協秀作展(久米島)での視察研修を行った。

第6回苧麻糸展示会(宮古島)

城間びんがた3人継承展(沖縄県立博物館・美術館)

(2) 資料収集整理事業

①芭蕉布形態模造煮綴花織芭蕉布、古芭蕉布の購入をおこなった。

(3) 技術研究事業

①与那国島の芭蕉の糸でつくられた蚊帳の調査をおこなった。

(4) 原材料・用具の整備事業

良質の糸芭蕉を確保するため、芭蕉畑除草の委託を行った。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：8,535千円(国 8,000千円、県 170千円、市 250千円、保持団体 115千円)

実施方法：国・県・宮古島市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体(代表者：新里玲子)

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①本年度は、図案・手括り(講師2名、伝承者4名)、染色(講師1名、伝承者2名)、織り(講師1名、伝承者2名)、砧打ち(講師1名、伝承者1名)の4部門において実施した。

また、外部講師(祝嶺恭子・與那嶺一子)を招いて「収集資料の保管管理について、及び宮古上布保持団体収蔵資料に関する見解」についての特別講義を実施した。

講師：下地達雄、垣花英好(図案・手括り)、平良清子(染め)、木村三子(織り)、砂川猛(砧打ち)

伝承者：松堂初美(4)、平良享子(3)、山城充代(3)、島袋恵(3)、長濱政子(3)、羽地真理子(1)、島袋恵(1)、砂川一人(4)

事業期間：平成 27 年 4 月 13 日～平成 28 年 3 月 31 日

場 所：指導者自宅工房及び研修生自宅

②全重協秀作展の見学研修を実施した。

(2) 資料の収集整理

宮古上布（古布）を資料として購入した。

(3) 技術研究

今年度は仕立て（与那覇洋子、新反 1 反・古布 1 反）を委託した。

(4) 原材料・用具の確保

砧台・木槌の製作、砧台メンテナンス、原木の製材を行った。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

ウ) 重要無形文化財「久米島紬」伝承者養成事業

事業総額：8,226 千円（国 8,000 千円、県 164 千円、町 54 千円、保持団体 8 千円）

実施方法：国・県・久米島町補助による保持団体直営事業

事業主体：久米島紬保持団体（代表者：山城宗太郎）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①養蚕、絹糸作り、真綿作り、糸つむぎ、製織の伝承者養成講座を実施した。

②養蚕は、4 名の講師で伝承者 10 名に桑の葉の取り方から上族まで毎日 2～3 回の桑の葉の与え方や、上族の時期等の講習を行った。

③織りは、4 名の講師で行った。絹糸作り、糸つむぎ、真綿作りは、4 名の講師でケンネル（座繰り機）を用いた糸作り、作った真綿からの糸引き、撚糸機による寄りのかけ方等の講習を行った。

講 師：山城宗太郎（養蚕）、

桃原禎子（養蚕、絹糸作り、真綿作り、糸つむぎ、製織）

宮平トシ子（養蚕、絹糸作り、真綿作り、製織）

幸地綾子（養蚕、絹糸作り、真綿作り、糸つむぎ）

高坂エミ子（絹糸作り、真綿作り、糸つむぎ）

山城ハツ（糸つむぎ）

宮平トシ子（製織）

伝 承 者：山城智子（8）、我那覇ケイ子（8）、平田とき子（8）、
古堅ヨシエ（8）、神里智江（8）、島袋佐枝（8）、大田広美（8）、
儀間勝枝（8）、吉永ルリ子（8）、佐久田康子（8）

事業期間：平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

場 所：久米島紬の里ユイマール館

④全重協秀作展の見学研修、沖縄県立博物館・美術館が所蔵する古い久米島紬の調査及び研修を行った。

(2) 原材料・用具の確保

養蚕に必要な桑畑の管理委託を行った。

(3) その他

①文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

②国選定保存技術の伝承者養成事業

ア) 選定保存技術「琉球藍製造」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：2,258 千円（国 1,106 千円、県 225 千円、町 100 千円、保持者 827 千円）

実施方法：国・県・本部町補助による保持者直営事業

事業主体：伊野波盛正（保持者）

事業内容：琉球藍は沖縄の染織品の製作には不可欠な原材料で、現在、選定保存技術保持者である伊野波盛正が唯一の製造者である。藍の製造は自然環境

に左右されやすく、安定した供給と高い品質を維持するためには藍葉の栽培・管理と高度に熟練した藍製造の技術が要求される。藍の製造は年2回（6月、11月）行われるが、今年度は染料としての藍の品質を決定する藍（リュウキュウアイ）の栽培管理に重点を置き、藍葉の植付け、施肥、除草、刈入れ、熟成・発酵、沈澱・濾過の藍製造の一連の技術錬磨の事業を実施した。同時に、5名の伝承者養成を行った。

伝承者：玉城昭正、小橋川茂、比嘉清、平安山良恒、仲村浩

事業期間：平成27年4月9日～平成28年3月30日

場所：伊野波盛正の藍畑・工場

イ) 選定保存技術「琉球藍製造」伝承者養成事業

事業総額：6,495千円（国 6,000千円、県 84千円、町 400千円、保存会 11千円）

実施方法：国・県・町補助による保存会直営事業

事業主体：琉球藍製造技術保存会（会長：伊良波幸秀）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①伝承者2名に対して、藍製造技術の伝承者養成及び技術・技能の向上のための指導を行った。作業工程は以下の通りである。

- 1) 藍葉植え付け、2) 施肥、3) 除草、4) 刈り入れ、5) 熟成・発酵、6) 沈澱・濾過

講師：伊野波盛正（泥藍製造、藍葉育成）

伝承者：竹山安秀、仲西利夫

事業期間：平成27年4月9日～平成28年3月30日

場所：伊野波盛正の藍畑・工場及び各藍葉農家の畑

(2) 技術技能の錬磨事業

①藍草の栽培について、会員6名の技術技能の錬磨を行った。

(3) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

ウ) 選定保存技術「手織製作」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：1,234千円（国 1,106千円、県 123千円、保持者 5千円）

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：大城義政（保持者）

事業内容：手織製作は、手織り用の木製の機（織機）を製作する技術であり、染織品の工芸技術を支える重要な用具製作技術である。長期間乾燥させた木材を使用し、各部材を製材・整形し、組み立てる。この一連の工程には、木材に関する深い知識・加工技術が必要であり、さらに織機の構造・機能、手織（織物）技術に対する理解と知識が要求される。本年度は、手織製作にかかる全工程を伝承者1名に伝授した。

伝承者：大城伸悟

事業期間：平成26年4月5日～平成27年3月25日

場所：大城織機製作所

エ) 選定保存技術「苧麻糸手績み」伝承者養成事業

事業総額：10,280千円（国 10,000千円、県 133千円、保存会 147千円）

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業主体：宮古苧麻糸手績み保存会（会長：神里佐千子）

事業期間：27年4月9日～28年3月21日

場所：宮古島市、多良間村の各講師宅又は公民館

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①宮古上布の原料となる苧麻の栽培から、整経までの5工程を17教室(平5、下地3、上野2、城辺2、伊良部1、多良間1)において講師1名、研修生1～6名で実施した。研修の内容は以下の通りである。

1) 苧麻栽培・収穫、2) 繊維剥ぎ取り(苧麻の表皮)、3) 糸績み、4) 撚りかけ、5) 整経

②他産地の視察研修(小千谷縮・越後上布、久米島紬、琉球絣、手機製作等)を行った。

(2) 技術・技能の錬磨事業

苧麻績み指導の基本部分を統一するために講師の勉強会を開催した。

(3) 研修発表事業

伝承者・会員の成果品の展示会を開催。

③沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額：426千円(県320千円、保存会106千円)

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統びん型保存会(代表：城間榮順)

事業内容：古びん型から学ぶことをテーマに、特殊な技法で型紙製作(糸掛けによる型紙)または型紙を使用して染めるびん型(白地型びん型、返し型びん型、染地型びん型、臙型びん型、二重型びん型)、型紙を用いず、糊袋に糊を入れ白生地の上に模様を描いて染める筒描きびん型(風呂敷・幕・タペストリー)のいずれかの指導を行った。

各工程については次のとおりである。

1) 下絵、2) 型紙彫り/糊袋作成、3) 型置き/筒描き、4) 色差し、5) 糊伏せ、6) 地染め

講師：城間榮順、知念績元、喜友名盛蔵

伝承者：城間栄市(5)、知念績人(5)、喜友名速(16)

事業期間：平成27年11月1日～平成28年3月31日

場所：各保持者工房

イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額：347千円(県259千円、保存会86千円)

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統本場首里織物保存会(代表：祝嶺恭子)

事業内容：「花織」の全工程(製図から製織まで)の技術指導を実施した。各工程については次のとおりである。

1) 意匠設計、2) 糸精錬、3) 経糸染色、4) 経糸糊つけ、5) 経糸繰返し、6) 整経、7) 仮箆通し、8) 経巻き、9) 花綜紬作り、10) 紹綜紬作り、11) 綜紬通し、12) 花綜紬通し、13) 紹綜紬通し、14) 箆通し、15) 織付け、16) 緯糸染色、17) 緯糸小管巻き、18) 製織、19) 整理仕上げ

講師：祝嶺恭子、多和田淑子、ルバース・ミヤヒラ吟子

伝承者：古屋英子(10)、溝渕幸恵(9)、玉木由香(6)、今帰仁桃子(7)、山城麻希子(4)

事業期間：平成27年11月16日～平成26年1月15日

場所：各保持者工房

- ウ) 県指定無形文化財「読谷山花織」伝承者養成事業
事業総額：448千円（県 337千円、保存会 111千円）
実施方法：県補助による保存会直営事業
事業主体：読谷山花織保存会（代表：比嘉恵美子）
事業内容：染色した糸を用い、製織(着尺)を指導した。
講師：比嘉恵美子、島袋秀、池原ケイ子
伝承者：島袋明美（28）、比嘉昌子（8）、山田恵利子（8）
事業期間：平成27年11月5日～平成28年3月31日
場所：各保持者工房
- エ) 県指定無形文化財「八重山上布」伝承者養成事業
事業総額：426千円（県 320千円、市 60千円、保存会 46千円）
実施方法：県・市補助による保存会直営事業
事業主体：八重山上布保存会（代表：新垣幸子）
事業内容：講師5名で伝承者3名に対し、手括り、捺染の技を受講生の経験に応じて指導した。中村澄子氏の工房では着尺に統一して指導した。新垣幸子氏の工房では、前年同様苧麻の苧倒しから苧引きや紡ぎ方を講習の一環として組み込み、糸数江美子氏と共に帯地の指導をした。また、今年度は八重山藍の仕込み方、花織や紹織の組み合わせの指導も行った。松竹喜生子氏の工房では、ブー績みを講習に組み込み、平良蓉子氏と共に帯地の指導をした。
講師：中村澄子、新垣幸子、糸数江美子、平良蓉子、松竹喜生子
伝承者：中村雪江（5）、島袋知佳子（2）、浦崎しなこ（2）
事業期間：平成27年10月1日～平成28年2月29日
場所：各保持者工房
- オ) 県指定無形文化財「琉球漆器」伝承者養成事業
事業総額：349千円（県 262千円、保存会 87千円）
実施方法：県補助による保存会直営事業
事業主体：琉球漆器保存会（代表：前田孝允）
事業内容：講師2人で昨年度から継続の各伝承者（沈金2人、箔絵・螺鈿1人）に技術・技法と同時に琉球漆器の歴史、特性等を教授した。各工程は以下の通りである。
1) デザイン、2) 沈金彫り／螺鈿切り、3) 沈金摺漆／螺鈿貝貼り、
4) 沈金仕上げ／螺鈿貝塗り（数回繰り返す）、
5) 螺鈿仕上げ／箔絵描き、6) 金箔貼りで仕上げ
講師：金城唯喜、前田孝允
伝承者：前田貴子（19）、国吉亮子（19）、前田栄（9）
事業期間：平成27年11月1日～平成28年3月25日
場所：各保持者工房

3. 民俗文化財

(1) 民俗文化財

① 沖縄の信仰用具に関する総合調査事業

事業総額：4,667,603円（国3,732,000円、県935,603円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：沖縄県教育委員会

事業期間：平成27年4月9日から平成28年3月31日（平成24年度から平成27年度まで3年間継続）

事業目的：沖縄県は祖先祭祀が盛んな地域であり多様な民間信仰がみられる。祖先祭祀や民間信仰に係るものとして家の位牌や祭具があり、村落においては土帝君や石獅子、石敢當、ビジュルなど独特な信仰対象が各地域に残されている。本調査は、沖縄県全域を対象とした信仰と習俗に係る総合調査を行い、その実態の把握と各地域に現存する信仰用具等の状態、文化的価値等を明らかにし、有形民俗文化財の保護・活用に向けた基礎資料とすることを目的とする。

実施場所：県内全域（沖縄本島、本島周辺離島、宮古諸島、八重山諸島）

事業概要：調査地を、沖縄本島北部・中部・南部・及び周辺離島、宮古諸島、八重山諸島に区分し、文化財調査嘱託員及び調査協力員が信仰用具に関する総合調査を行い、「沖縄の信仰用具に関する総合調査報告書」を刊行した。

調査委員：赤嶺 政 信（琉球大学法文学部教授）

上江洲 均（久米島自然文化センター名誉館長）

稲福 みき子（元沖縄国際大学総合文化学部教授）

波平 エリ子（沖縄大学・沖縄国際大学・沖縄県立看護大学非常勤講師）

板井 英伸（沖縄大学地域研究所特別研究員）

前田 一舟（うるま市立海の文化資料館学芸員）

本永 清（県文化財保護審議会審議委員）

調査協力員：4名

② 第57回九州地区民俗芸能大会

事業総額：1,440,610円（県500,000円 団体940,610円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：宜野座村松田区伝統芸能保存会

大会名称：第57回九州地区民俗芸能大会

開催期日：平成27年11月15日（日）

開催場所：プラム・カルコア太宰府（福岡県太宰府市）

派遣芸能：豊年を祝い、神へ感謝し、古知屋守護神として宗められている「シシガナシ」豊年祭（旧暦8月15夜あしび）には道ジュネーの先頭になり集落内の各アジマーで部落の豊年（ユガフ）を願いながら悪払いをしアシビナーに入る。以前は旧家幸地家の安置子屋に保管されていたが、今は公民館に安置されて部落を見守っている。現在演じられている獅子は3代目である。初代の獅子は170年前ごろから舞台や道ジュネー、村屋で即興的に三線の曲に合わせて演じ、型は定まらなかった。2代目の獅子は大正13年に名護市田井等から村人2人が派遣され4日間かけて習得してきた。部落に持ち帰り検討し独自の三線・ガークドラガネ・太鼓の曲がつけられて演じるようになって現在に至る。猿（ワクヤー）1人・獅子（前後）2人の計3人で演ず

る。舞の内容は猿が鈴（ハナワ）を持って獅子をいたずらする光影を表現したものである。当区の獅子は、雄で豊年祭（旧8月15夜あしび）のプログラム28演目の一つであり前半と最後に演じられる。その間は舞台（バンク）の脇に安置され部落民と共にアシビを楽しむ。獅子頭は赤木を用いて当区出身者が名護市東江の獅子頭を参考に作る。胴体は綱に芭蕉糸を主にしてくくりつけ、雄姿の雰囲気をかもしだしている。

出演演目：

	芸 能 名	出演団体
1	め た ふりゅう 米田浮立	米田浮立保存会（佐賀県）
2	ふるおおうちかま 古大内鎌おどり	古大内鎌おどり保存会（宮崎県）
3	たのうらやまみやじんじゃ かぐら 田之浦山宮神社の神楽	田之浦山宮神社神楽保存会（鹿児島県）
4	みょうぶ まい 命婦の舞	命婦の舞保存会（長崎県）
5	まつだ ししまい 松田の獅子舞	宜野座村松田区伝統芸能保存会（沖縄県）
6	たけ はやし 竹の曲	竹の曲保存会（福岡県）
7	たかぼたとしねじんじや たう おど 高畑年祢神社田植え踊り	高畑年祢神社田植え踊り保存会（熊本県）
8	くさじ 草地おどり	草地おどり保存会（大分県）
9	ひなしる ししまい 蜷城の獅子舞	おくんち保存会（福岡県）

※ 九州各県から1団体、開催地福岡県は2団体



宜野座村松田区伝統芸能保存会（沖縄県）



松田の獅子舞

4. 記念物

(1) 史跡・名勝

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝、国の登録記念物を含む）及び県指定の史跡・名勝の件数は合計19件（平成28年5月1日現在）である。今後も貴重な文化財の適切な保護と保存、活用を図るために、指定文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県の指定文化財を中心に進めている。平成27年度は国指定史跡「フルスト原遺跡」、「浦添城跡」、「勝連城跡」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」、「中城ハンタ道」、「座喜味城跡」（災害復旧）、特別名勝「識名園」、名勝「伊江殿内庭園」、県史跡・名勝「首里金城町石畳道」において保存整備事業を実施した。また、史跡等総合活用支援推進事業として、国指定史跡「知念城跡」、「具志川城跡」（久米島町）、「中城城跡」、「内間御殿」、「具志川城跡」（糸満市）においてそれぞれ実施した。史跡等買上事業（直接買上）では、国指定史跡「勝連城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「島添大里城跡」、「大和井」にて実施した。なお「伊江御殿別邸庭園」、「伊礼原遺跡」については先行取得償還で実施した。史跡等保存管理計画策定事業は国指定史跡「勝連城跡」、「佐敷城跡」、「八重干瀬」でそれぞれ実施した。文化的景観保護推進事業は北大東村字港区で実施した。

①受託事業

発掘調査事業

- ・「首里城跡」発掘調査関連資料整理、報告書作成業務

内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所の公園整備事業に伴うもので、平成27年度は首里城地区発掘関連資料整理及び、報告書作成業務をおこなった。

事業主体：沖縄県

事業費：37,961,000円

②国庫補助事業

ア) 史跡等の土地買上げ事業

- a) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：うるま市

事業経費：5,969,930円（国4,774,000円、県101,000円、市1,094,930円）

特記事項：326.00㎡ 1筆

- b) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：27,929,564円（国22,278,000円、県473,000円、村5,178,564円）

買上げ実績：9,364㎡ 13筆

- c) 事業名：史跡「島添大里城跡」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：南城市

事業経費：30,571,163円（国24,456,000円、県519,000円、市5,596,163円）

買上げ実績：2,479.36㎡ 3筆

- d) 事業名：史跡「大和井」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：宮古島市

事業経費：2,664,714円（国2,124,000円、県44,000円、市2,664,714円）

買上げ実績：295㎡ 1筆

- e) 事業名：名勝「伊江御殿別邸庭園」史跡等買上げ（先行取得償還）事業

事業主体：那覇市

事業経費：104,933,000円（国83,946,000円、県1,783,000円、市19,204,000円）

買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

- f) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」史跡等買上げ（先行取得償還）事業
事業主体：北谷町
事業経費：188,068,000円（国150,458,000円、県3,197,000円、町34,417,000円）
買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

イ) 史跡・名勝の保存整備事業

- a) 事業名：史跡「フルスト原遺跡」保存整備
事業主体：石垣市
事業経費：9,000,808円（国7,200,000円、県207,000円、市1,593,808円）
事業内容：○第1号～3号石塁間見学道を挟んで西側で、トレンチを11カ所設けて発掘調査を実施した
○平成27年度に発掘調査をおこなったトレンチの平板測量及び座標設置を実施した。
○平成28年度以降、第5号石塁から崖下間の整備を計画している箇所約80mの伐採搬出を実施。伐採、搬出後に微地形測量と第5号脇で確認された石積遺構の写真測量を実施した。
○遺構確認調査終了後に、各トレンチの空撮を行った。
○平成26年度写真測量を実施した第4号・第15号石塁間で確認された遺構の図化を実施した。
○第10号東側と窪地、第3号石塁の見学用道路を挟んで西側で、840㎡を実施した。芝張りは遺構表面に厚さ15cmで盛土し、その上を芝（セントオーガスチン）で敷き詰めた。
○第1号・2号石塁出土の整理を行った。整理は、主に実測及び図化を行った。

◇フルスト原遺跡現場検討会

平成27年9月3日～4日（石垣市教育委員会2階会議室、石垣市内）

◇フルスト原遺跡整備委員会

平成28年2月9日（石垣市教育委員会2階会議室、及び史跡フルスト原遺跡）

- b) 事業名：史跡「浦添城跡」保存整備
事業主体：浦添市
事業経費：17,920,293円（国14,328,000円、県411,000円、市3,181,293円）
事業内容：○内郭西地区の遺構調査及び浦添ようどれ墓室内温度・湿度計測データ評価業務委託。
○平成26年度までに出土した遺物の整理作業を行った。
○遺構調査は内郭西地区の発掘調査を行い、18mの城壁を確認した。
○浦添ようどれからの出土物を墓室内に収蔵してよいか否かの評価を行った。

◇浦添城跡整備委員会

①平成28年1月27日（浦添市役所、浦添城跡）

- c) 事業名：史跡「中城ハンタ道」保存整備

事業主体：中城村

事業経費：23,000,215円（国18,400,000円、県529,000円、村4,071,215円）

- 事業内容：○遺構確認調査の際に出土した遺物や図面等の資料整理を行った。
○歴史の道付帯施設であるペリーの旗立岩整備工事の設計業務及び監理業務を委託で実施した。
○遺構確認調査の際に出土した遺物の化学分析を委託で実施した。
○ペリー旗立岩の整備工事（岩盤補強及び道標設置）を請負で実施した。

◇中城ハンタ道整備委員会

①平成27年10月27日（中北消防署2階会議室）

- d) 事業名：史跡「勝連城跡」保存整備

事業主体：うるま市

事業経費：30,053,217円（国24,000,000円、県690,000円、市5,363,217円）

事業内容：○西原御門付近（約500㎡）の遺構調査をうるま市教育委員会直営により実施した。

○一の郭石積み積み直し工事、四の郭仮設雨水配水管設置工事、四の郭芝張り工事の設計図作成並びに、工事監理は委託により実施した。

○一の郭石積み積み直し工事、四の郭仮設雨水配水管設置工事、四の郭芝張り工事を実施した。

◇勝連城跡整備委員会

①平成27年9月14日（うるま市市民芸術劇場・史跡「勝連城跡」）

②平成27年10月19日（うるま市市民芸術劇場・史跡「勝連城跡」）

③平成28年2月25日（うるま市市民芸術劇場・史跡「勝連城跡」）

e) 事業名：史跡「座喜味城跡」保存整備（災害復旧）

事業主体：読谷村

事業経費：6,296,400円（国5,351,000円、県270,000円、村675,400円）

事業内容：○実施設計（全体）

○地滑りの復旧

f) 事業名：特別名勝「識名園」保存整備

事業主体：那覇市

事業経費：3,494,290円（国2,795,000円、市699,290円）

事業内容：○勸耕台屋根の修復工事を実施した。

○心字池の水の浄化作業を委託した。

g) 事業名：名勝「伊江殿内庭園」保存整備

事業主体：那覇市

事業経費：23,544,000円（国18,853,000円、県540,000円、市4,169,000円）

事業内容：○東側急斜地安全対策工事を実施した。

h) 事業名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」保存整備

事業主体：浦添市

事業経費：23,436,000円（国18,360,000円、県527,000円、市4,549,000円）

事業内容：○普天満参詣道の岩盤の落石防護対策（浮石及び転石除去工・伐採工・岩盤破碎工・表面吹付工）を実施した。

ウ) 史跡等総合活用支援推進事業（史跡等）

a) 事業名：史跡「知念城跡」史跡等総合活用支援推進事業（史跡等）

事業主体：南城市

事業経費：14,003,399円（国11,200,000円、県322,000円、市2,481,399円）

事業内容：○南西側城壁修復工事設計委託業務・修復工事監理業務を委託で実施した。

○城郭南側の城壁修復と城郭西側の植栽工、及び西側崖下への落石対策を実施した。

◇知念城跡現場検討会及び整備委員会

①平成27年8月3日（南城市大里庁舎3階西側会議室2）

②平成28年3月16日（南城市大里庁舎3階西側会議室2）

b) 事業名：史跡「具志川城跡（久米島町）」史跡等総合活用支援推進事業（史跡等）

事業主体：久米島町

事業経費：10,328,389円（国8,261,000円、県237,000円、町1,830,389円）

事業内容：○保存修理の根拠を得るため、三の郭外郭内外の発掘調査を実施した。

○保存修理工事に伴う設計監理業務を委託で実施した。

○三の郭南側の補強を目的に法面造成後、プレート式補強筋を挿入する補強対策工事を実施した。

○二の郭内壁部において、地上レーザー測量業務を委託により実施した。

◇具志川城跡整備委員会

①平成27年10月14日（久米島博物館講堂）

②平成28年2月10日（久米島町物館講堂）

◇具志川城跡出土資料整理指導

平成26年2月19日～21日（久米島博物館講堂）

c) 事業名：史跡「中城城跡」史跡等総合活用支援推進事業

事業主体：中城村

事業経費：34,421,632円（国27,536,000円、県791,000円、村6,094,632円）

事業内容：○一の郭調査区、西の郭調査区、で発掘調査を実施。

○出土遺物の資料整理を実施した。

○平成27年度整備工事の実設計を委託で実施。

○遺構確認調査の際に出土した遺物実測の科学分析を委託で実施した。

○中城城跡発掘調査報告書に掲載する異物の撮影を委託で実施した。

○発掘調査によって検出した遺構及び城壁の測量及び図化を委託で実施した。

○一の郭内の石積に使用されている石材について、保存状態の記録作業を実施した。

○発掘調査で出土した金属製品の保存処理を委託で実施した。

○西の郭南側城壁の崩落石の撤去等を実施した。

◇中城城跡整備委員会

平成27年10月27日（中北消防署2階会議室）

d) 事業名：史跡「内間御殿」史跡等総合活用支援推進事業

事業主体：西原町

事業経費：9,039,891円（国7,231,000円、県206,000円、町1,602,891円）

事業内容：○石積遺構及び史跡周辺住宅に影響を与えている、または今後影響を与える可能性のある樹木の剪定・伐採を実施した。

◇内間御殿整備委員会及び現地指導

平成27年7月6日（西原町嘉手苺公民館・史跡「内間御殿」）

e) 事業名：史跡「具志川城跡（糸満市）」史跡等総合活用支援推進事業

事業主体：糸満市

事業経費：7,371,681円（国5,896,000円、県169,000円、市1,306,681円）

事業内容：○レーザー測量を実施して、整備事業に伴う城壁の平面図を完成させた。

○城門周辺の雑石を移設して環境整備を行うとともに、測量図面等の再整理を行い、史跡概要パンフレットと環境整備報告書を刊行した。

エ) 史跡等保存管理計画策定事業

a) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体：うるま市

事業経費：4,302,310円（国3,441,000円、県106,000円、市755,310円）

事業内容：○現地調査は市直営により、計画策定は請負委託により実施した。

○管理、現状変更許可等の検討は、検討委員会を開催して指導を仰いだ。

◇勝連城跡保存管理計画検討委員会

①平成27年7月27日（勝連城跡周辺）

②平成27年10月28日（うるま市民劇場リハーサル室）

③平成28年2月12日（うるま市民劇場リハーサル室）

- b) 事業名：史跡「佐敷城跡」史跡等保存管理計画策定事業
事業主体：南城市
事業経費：10,580,027円（国8,075,000円、県212,000 町2,293,027円）
事業内容：○保存管理計画策定委員にて保存管理計画の審議を3回実施した。
○指定地、追加指定予定地において測量を実施した。
○2カ年の成果として保存管理計画書を取りまとめた。

◇佐敷城跡保存管理計画策定委員会

- ①平成27年10月27日（南城市大里庁舎3階）
- ②平成27年12月22日（南城市大里庁舎3階）
- ③平成28年2月13日（南城市大里庁舎3階）

- c) 事業名：名勝及び天然記念物「八重干瀬」史跡等保存管理計画策定事業
事業主体：宮古島市
事業経費：4,713,610円（国3,479,000円、県108,000 町1,126,10円）
事業内容：○保存管理計画の策定を行った。

◇名勝・天然記念物「八重干瀬」保存管理計画策定委員会

- ①平成27年7月7日（宮古島市城辺庁舎2階会議室）
- ②平成27年9月9日（宮古島市城辺庁舎1階）

③県事業

- a) 事業名：史跡「円覚寺跡」史跡等保存修理事業
事業主体：沖縄県
事業経費：1,056,680円
事業内容：○測量を委託で実施した
○整備委員会を設置し、三門等の整備について検討を行った。
○環境整備のために標柱等の撤去及び樹木伐採等を行った。
- ◇史跡「円覚寺跡」整備委員会
- ①平成27年12月12日（円覚寺跡現場・沖縄県立芸術大学会議室）
 - ②平成28年3月12日（沖縄県立芸術大学会議室）
 - ③平成28年3月29日（沖縄県立芸術大学会議室）

④県補助事業

ア) 史跡・名勝保存修理事業

- a) 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業
事業主体：那覇市
事業経費：600,000円（県300,000円、市300,000円）
事業内容：○県史跡・名勝「首里金城町石畳道」の石の欠損や沈下部分を既存の石畳に準じる工法、材質及び寸法等に倣って、修復を行った
○石畳道の修繕は工事請負で実施した。
○平成27年度の石畳道の修繕は9.39㎡の範囲で行った。

イ) 管理事業

- a) 事業名：県史跡ミントングスク管理事業
事業主体：南城市
事業経費：100,000円（県50,000円、市50,000円）

事業内容：○県史跡ミントングスクの適切な保存と活用を図るために、文化財指定地域の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者に委託で実施した。

⑤史跡・名勝の現状変更等

- 1) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成27年6月19日付け27受庁財第4号の192）
中城村による史跡「中城城跡」の一の郭北側城壁の解体と発掘調査を文化庁が許可。
- 2) 名勝「伊江殿内庭園」の現状変更（平成27年6月19日付け27受庁財第4号の245）
那覇市による転石除去工事及び石積復旧工事及び磁気探査に伴うボーリング工事を文化庁が許可。
- 3) 史跡「具志川城跡」の現状変更（平成27年6月19日付け27受庁財第4号の298）
久米島町による城壁遺構調査及び石積修復工事及び法面保護工事を文化庁が許可。
- 4) 名勝「伊江御殿別邸」の現状変更（平成27年6月19日付け27受庁財第4号の421）
那覇市防蛇ネット設置工事及び門扉取り替え工事及び白蟻防除のための器具設置工事を文化庁が許可。
- 5) 史跡「浦添城跡」の現状変更（平成27年7月17日付け27受庁財第4号の536）
浦添城跡内郭西地区の石積城壁遺構確認調査及び排土や礫の仮置き、樹木等の伐採を文化庁が許可。
- 6) 史跡「フルスト原遺跡」の現状変更（平成27年6月19日付け27受庁財第4号の370）
第1号～2号石塁西側、10号石塁南側の遺構確認調査及び芝張り工事、樹木伐採を文化庁が許可。
- 7) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成27年6月19日付け27受庁財第360）
国営沖縄記念公園による敷地造成工事及び石積工事等を文化庁が許可。
- 8) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成27年7月15日付け沖縄県教育委員会指令第35号）
沖縄県による園路舗装工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 9) 県史跡天然記念物「仲島の太石」の現状変更（平成27年7月15日付け沖縄県教育委員会指令第38号）
旭橋年再開発株式会社による既存建造物の解体に伴う掘削工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 10) 史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」の現状変更（平成27年7月17日付け27受庁財第4号の474）
浦添市による樹木伐採工事及び岩盤粉碎工事及び表面吹付工事を文化庁が許可。
- 11) 史跡「内間御殿」の現状変更（平成27年7月17日付け27受庁財第4号の506）
西原町による石牆内側の遺構確認調査及び樹根の除去工事を文化庁が許可。
- 12) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成27年7月17日付け27受庁財第4号の611）
今帰仁村大隅城壁の修復及びサイン工事、プレハブ設置、平郎門前の遺構確認調査を文化庁が許可。
- 13) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成27年7月17日付け27受庁財第4号の612）
うるま市による発掘調査を文化庁が許可。
- 14) 史跡「国頭方西海道」の現状変更（平成27年9月18日付け27受庁財第4号の733）
恩納村による石缸の石積修復及び安全対策工事等を文化庁が許可。
- 15) 史跡「円覚寺跡」及び「首里城跡」の現状変更（平成27年9月18日付け27受庁財第4号の826）
沖縄県による造成工事及び構造物撤去復旧工事、仮設工事等を文化庁が許可。
- 16) 特別名勝「識名園」の現状変更（平成27年9月18日付け27受庁財第4号の884）
那覇市による園内の勸耕台屋根部分に係る垂木材及び屋根葺き等の取り替えを文化庁が許可。
- 17) 史跡「知念城跡」の現状変更（平成27年9月18日付け27受庁財第4号の999）
南城市による南側城壁修復工事及び城郭西側遺構確認調査を文化庁が許可。
- 18) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成27年9月3日付け沖縄県教育委員会指令第45号）
今帰仁村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 19) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（平成27年9月14日付け沖縄県教育委員会指令第49号）
読谷村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 20) 史跡「中城ハンタ道」の現状変更（平成27年10月16日付け受庁財第4号の1052）
中城村による岩盤補強工事及びサイン設置に伴う発掘調査、誘導サイン設置工事を文化庁が許可。

- 21) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（平成27年11月20日付け受庁財第4号の1280）
読谷村による土砂崩れ箇所における土質調査及び法面崩落箇所の復旧工事を文化庁が許可
- 22) 県史跡「琉潭及びその周辺」の現状変更（平成27年10月14日付け沖縄県教育委員会指令第51号）
首里振興会による「琉球王朝祭り首里」の花火大会に伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 23) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成27年10月26日付け沖縄県教育委員会指令第55号）
首里城祭実行委員会による首里城公園内への蠟燭入りカップの設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 24) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成27年10月26日付け沖縄県教育委員会指令第58号）
今帰仁村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 25) 県史跡「野國貝塚群」の現状変更（平成27年10月28日付け沖縄県教育委員会指令第59号）
沖縄県下水道管理事務所による舗装掘削工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 26) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成27年11月20日付け27受庁財第4号の1288）
国営沖縄記念公園事務所による敷地造成工事及び園路広場整備工事等を文化庁が許可。
- 27) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成27年11月20日付け27受庁財第4号の1339）
うるま市による石積解体積み直し工事及び裏込め材流出防止工事を文化庁が許可。
- 28) 県史跡名勝「首里金城町石畳道」の現状変更（平成27年11月27日付け沖縄県教育委員会指令第62号）
那覇市による石畳道の沈下部分の修理及び欠損部分の補填を沖縄県教育委員会が許可。
- 29) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成27年12月11日付け27受庁財第4号の1577）
国営沖縄記念公園事務所による敷地造成工事及び擁壁工事等を文化庁が許可。
- 30) 史跡「内間殿内」の現状変更（平成27年12月11日付け27受庁財第4号の1578）
西原町による東江御殿本殿の修復及び再掘削調査を文化庁が許可。
- 31) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成27年12月24日付け沖縄県教育委員会指令第64号）
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 32) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成27年12月24日付け沖縄県教育委員会指令第65号）
中城村による路面舗装工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 33) 名勝「伊江御殿別邸庭園」の現状変更（平成28年1月15日付け27受庁財第4号の1421）
那覇市による白蟻防除に係る器具の設置を文化庁が許可。
- 34) 県史跡名勝天然記念物「万座毛」の現状変更（平成28年1月27日付け沖縄県教育委員会指令第1号）
恩納村による施設整備に伴うボーリング調査を沖縄県教育委員会が許可。
- 35) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成28年2月5日付け沖縄県教育委員会指令第3号）
今帰仁村による立木補償の対象樹木伐採を沖縄県教育委員会が許可。
- 36) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成28年2月15日付け沖縄県教育委員会指令第8号）
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 37) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成28年3月8日付け沖縄県教育委員会指令第9号）
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 38) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成28年3月8日付け沖縄県教育委員会指令第10号）
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

(2) 天然記念物

①天然記念物緊急調査（国庫補助事業）

事業名：国指定天然記念物緊急調査（ケナガネズミ）

事業総額：4,959千円（国3,967千円、県992千円）

事業主体：沖縄県

事業期間：平成27年4月13日～平成28年3月31日

（平成24年度～平成28年度までの5年間継続事業）

事業目的：沖縄本島北部に生息する国指定天然記念物ケナガネズミについて、生態や個体数など未だ不明な点が多いことから、今後具体的な保護策に寄与するためのデータ集積を目的とした緊急調査を実施する。

調査委員： 千木良芳範 元沖縄県立博物館・美術館副館長
久高 将和 カメラマン
久高 奈津子 Yambaru Green 代表
村山 望 新星出版カメラマン
中村 智映 沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課飼育員
吉岡 由恵 沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課飼育員
木下 剛志 恩納村立喜瀬武原中学校教諭
丸山 勝彦 沖縄県立南風原高等学校教諭
知花 史尚 沖縄県立総合教育センター研究主事
城間 恒宏 沖縄県教育庁文化財課指導主事
德里 政哉 沖縄県立那覇高等学校教諭

事務局：濱川 靖 沖縄県教育庁文化財課

事業内容：(1)調査地 沖縄本島北部地域

(2)調査項目

- a) 生息実態調査
- b) 行動観察（繁殖行動、その他樹上での行動）

②天然記念物食害対策事業（国庫補助事業）

事業名：国指定天然記念物食害対策事業（ケラマジカおよびその生息地）

事業総額：13,061千円（国8,707千円、県1,306千円、座間味村3,048千円）

事業主体：座間味村

事業期間：平成27年6月10日～平成28年3月29日

（平成25年度～平成28年度までの4年間継続事業）

事業目的：ケラマジカから農作物等の食害を防止するため「新設のフェンスを設置する事業」と「既存のフェンスが腐食しているため取り壊して新たに新設する事業」である。総延長602.3mを慶留間島で実施する。ケラマジカは、日中・夜間を問わず餌を求めて農地や集落に出没し、農作物・家庭菜園・花木等を食い荒らして被害をおよぼしていることから、ケラマジカからの農作物の被害を早急に改善する必要がある。また、この事業を実施することによりケラマジカの保全・保護と地域住民との共存共栄ができるように努めなければならない。

③天然記念物関連事業（県単独事業）

事業名：天然記念物指定対象物件調査

事業総額：82千円（県82千円）

事業主体：沖縄県

事業目的：沖縄県内の天然記念物、ならびに今後指定し保護すべき貴重動物、植物群落及び地質鉱物などのうち保全上の課題を有すると考えられる物件について、現地調査を行い、これらを保護する上で必要な資料・情報を得る。

事業内容：(1)調査地 東京都、久米島

(2)調査項目

- a) 保全上の課題を有する物件の現地調査
- b) 指定候補物件の現地調査
- c) 新規指定物件の文化庁調整

④天然記念物の現状変更等

- 1) 【県天】イボイモリの現状変更(組織採取等)申請 (H27.4.15 許可)
申請者(日付):琉球大学教育学部 准教授 富永篤 (H27.4.14)
許可(期間):平成27年4月15日 付け 沖縄県教育委員会指令第20号 (許可日～H29.3.31)
- 2) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(土壌採取)申請 (H27.4.21 進達)
申請者(日付):島根大学総合理工学学術研究科 石賀裕明 (H27.4.7)
許可(期間):平成27年5月15日 付け 27受庁財第4号の132 (許可日～H27.5.17)
- 3) 【国天】キシノウエトカゲの現状変更(生態調査および試料採取)申請 (H27.4.23 進達)
申請者(日付):琉球大学熱帯生物圏研究センター 戸田守 (H27.4.16)
許可(期間):平成27年5月15日 付け 27受庁財第4号の153 (許可日～H29.3.31)
- 4) 【県天】ヨナグニサンの現状変更(捕獲・生態展示)申請 (H27.4.21 許可)
申請者(日付):与那国町教育委員会 教育長 崎原用能 (H27.4.9)
許可(期間):平成27年4月21日 付け 沖縄県教育委員会指令第23号 (許可日～H30.3.31)
- 5) 【県天】指定動物種6種の現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H27.5.8 許可)
申請者(日付):沖縄県知事職務代理者 副知事 浦崎唯昭 (H27.4.15)
許可(期間):平成27年5月8日 付け 沖縄県教育委員会指令第21号 (許可日～H29.6.30)
- 6) 【県天】キクザトサワヘビの現状変更(カメラ捕獲器設置)申請 (H27.5.8 許可)
申請者(日付):嶋津信彦 (H27.4.13)
許可(期間):平成27年5月8日 付け 沖縄県教育委員会指令第22号 (H27.7.1 ～H27.7.31)
- 7) 【県天】嘉津宇岳安和岳および八重岳自然保護区の現状変更(植物採取)申請 (H27.5.12 許可)
申請者(日付):国立沖縄工業高等専門学校渡邊謙太 (H27.4.23)
許可(期間):平成27年5月12日 付け 沖縄県教育委員会指令第24号 (許可日～H30.3.31)
- 8) 【県天】指定動物種6種の現状変更(動物捕獲器設置)申請 (H27.5.18 許可)
申請者(日付):沖縄環境保全研究所 代表取締役 平良辰二 (H27.5.13)
許可(期間):平成27年5月18日 付け 沖縄県教育委員会指令第25号 (許可日～H28.9.30)
- 9) 【県天】コノハチョウ、嘉津宇岳安和岳および八重岳自然保護区の現状変更(飼育、食草調査)申請 (H27.5.21 許可)
申請者(日付):琉球大学農学部 辻瑞樹 (H27.5.15)
許可(期間):平成27年5月21日 付け 沖縄県教育委員会指令第26号 (許可日～H29.3.31)
- 10) 【県天】イボイモリ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H27.6.2 許可)
申請者(日付):沖縄県土木建築部南部土木事務所所長嶺井秋夫 (H27.5.14)
許可(期間):平成27年6月2日 付け 沖縄県教育委員会指令第28号 (許可日～H30.6.1)
- 11) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H27.6.2 進達)
申請者(日付):沖縄県知事 翁長雄志 (H27.5.14)
許可(期間):平成27年7月17日 付け 27受庁財第4号の448 (許可日～H30.7.16)
- 12) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生態調査)申請 (H27.6.1 許可)
申請者(日付):沖縄県宮古土木事務所長 小橋川透 (H27.5.1)
許可(期間):平成27年6月1日 付け 沖縄県教育委員会指令第27号 (許可日～H28.3.31)
- 13) 【県天】ミヤコサワガニの現状変更(カメラ捕獲器設置)申請 (H27.6.2 許可)
申請者(日付):嶋津信彦 (H27.5.5)
許可(期間):平成27年6月2日 付け 沖縄県教育委員会指令第29号 (H27.6.14 ～H27.6.28)
- 14) 【国特】ノグチゲラ、他8種の現状変更(動物捕獲器設置)申請 (H27.5.18 許可)
申請者(日付):沖縄環境保全研究所 代表取締役 平良辰二 (H27.5.13)
許可(期間):平成27年5月18日 付け 沖縄県教育委員会指令第31号 (許可日～H28.9.30)
- 15) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生態調査)申請 (H27.6.18 許可)
申請者(日付):東海大学海洋学部 講師 土井航 (H27.6.4)
許可(期間):平成27年6月18日 付け 沖縄県教育委員会指令第32号 (許可日～H28.3.31)
- 16) 【国天】オカヤドカリ、キシノウエトカゲの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H27.6.25 進達)
申請者(日付):多良間村長 伊良皆光夫 (H27.6.11)
許可(期間):平成27年7月17日 付け 27受庁財第4号の696 (許可日～H27.12.10)
- 17) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H27.7.10 許可)
申請者(日付):株式会社環境技建ウェーブ、株式会社沖縄環境分析センター (H27.6.22)
許可(期間):平成27年7月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第36号 (許可日～H28.3.31)
- 18) 【県天】ミヤコサワガニの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H27.7.10 許可)
申請者(日付):沖縄県農林水産部宮古農林水産振興センター所長安里和政 (H27.6.29)
許可(期間):平成27年7月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第37号 (H27.7.13 ～H28.3.31)

- 19) 【県天】クロイワカゲモドキの現状変更(捕獲・試料採取)申請 (H27.7.30 許可)
 申請者(日付):那覇自然環境事務所長 西村学 (H27.7.15)
 許可(期間):平成27年7月30日 付け 沖縄県教育委員会指令第39号 (許可日～H28.3.30)
- 20) 【県天】指定鱗翅目4種の現状変更(陸域動植物調査)申請 (H27.8.3 許可)
 申請者(日付):有限会社環境リサーチ代表取締役伊波亜希子 (H27.7.7)
 許可(期間):平成27年8月3日 付け 沖縄県教育委員会指令第40号 (許可日～H27.12.4)
- 21) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(永年飼育・展示)申請 (H27.8.5 許可)
 申請者(日付):株式会社南都 代表取締役社長 大城宗直 (H27.7.13)
 許可(期間):平成27年8月5日 付け 沖縄県教育委員会指令第41号 (許可日～個体滅失)
- 22) 【国天】カラスバトの現状変更(移動・永年飼養)申請 (H27.8.5 許可)
 申請者(日付):名護自然動植物公園株式会社 代表取締役社長 宮島和彦 (H27.7.21)
 許可(期間):平成27年8月5日 付け 沖縄県教育委員会指令第42号 (許可日～個体滅失)
- 23) 【国天】仲間川天然保護区域の現状変更(マングローブ林調査)申請 (H27.8.10 進達)
 申請者(日付):東北学院大学大学院人間情報学研究科 教授 宮城豊彦 (H27.7.7)
 許可(期間):平成27年9月18日 付け 27受庁財第4号の849 (許可日～H30.9.17)
- 24) 【国天】オカヤドカリの現状変更(採取及び学術研究)申請 (H27.8.7 進達)
 申請者(日付):沖縄県立芸術大学全学教育センター 准教授 藤田喜久 (H27.7.23)
 許可(期間):平成27年9月18日 付け 27受庁財第4号の975 (許可日～H28.3.31)
- 25) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生態調査)申請 (H27.8.13 許可)
 申請者(日付):東海大学海洋学部 講師 土井航 (H27.7.31)
 許可(期間):平成27年8月13日 付け 沖縄県教育委員会指令第44号 (許可日～H28.3.31)
- 26) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(工作物設置)申請 (H27.9.3 許可)
 申請者(日付):沖縄県知事職務代理者 副知事 浦崎唯昭 (H27.7.22)
 許可(期間):平成27年9月3日 付け 沖縄県教育委員会指令第46号 (許可日～H30.9.2)
- 27) 【県天】イボイモリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H27.9.7 許可)
 申請者(日付):株式会社クレアリア沖縄支店 支店長 国平好明 (H27.8.31)
 許可(期間):平成27年9月7日 付け 沖縄県教育委員会指令第47号 (許可日～H28.7.31)
- 28) 【国天】長幕崖壁及び崖錐の特殊植物群落の現状変更(植物採取)申請 (H27.9.17 進達)
 申請者(日付):一般財団法人自然環境研究センター 理事長 大塚柳太郎 (H27.8.24)
 許可(期間):平成27年10月16日 付け 27受庁財第4号の1208 (許可日～H28.3.31)
- 29) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(永年飼養・展示)申請 (H27.9.18 許可)
 申請者(日付):宜野湾市立博物館 館長 宮城邦治 (H27.8.20)
 許可(期間):平成27年9月18日 付け 沖縄県教育委員会指令第50号 (許可日～個体滅失)
- 30) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動、生息調査)協議 (H27.11.19 進達)
 協議者(日付):沖縄防衛局長 井上一徳 (H27.9.11)
 同意(期間):平成27年11月20日 付け 27受庁財第4号の1546 (同意日～H37.11.19)
- 31) 【県天】万座毛石灰岩植物群落の現状変更(開発行為)申請 (H27.11.26 許可)
 申請者(日付):恩納村長長浜善巳 (H27.9.11)
 許可(期間):平成27年11月26日 付け 沖縄県教育委員会指令第60号 (許可日～H29.3.31)
- 32) 【県天】指定植物群落3種の現状変更(試料採取)申請 (H27.10.16 許可)
 申請者(日付):広島大学国際協力研究科 近藤俊明 (H27.10.15)
 許可(期間):平成27年10月16日 付け 沖縄県教育委員会指令第52号 (H27.10.17～H27.10.20)
- 33) 【県天】指定両生類4種の現状変更(一時捕獲)申請 (H27.10.23 許可)
 申請者(日付):沖縄防衛局長 (H27.10.14)
 許可(期間):平成27年10月23日 付け 沖縄県教育委員会指令第53号 (H26.6.19～H29.3.31)
- 34) 【県天】指定植物群落2種の現状変更(植生調査)申請 (H27.10.23 許可)
 申請者(日付):鹿児島県立博物館 学芸主事 寺田仁志 (H27.10.16)
 許可(期間):平成27年10月23日 付け 沖縄県教育委員会指令第54号 (許可日～H28.3.31)
- 35) 【国天】与那覇岳天然保護区域の現状変更(植物採取)協議 (H27.11.16 進達)
 協議者(日付):九州地方環境事務所那覇自然環境事務所長 (H27.10.20)
 同意(期間):平成27年12月11日 付け 27受庁財第4号の1533 (同意日～H28.3.31)
- 36) 【国天】星立天然保護区域の現状変更(マングローブ林調査)協議 (H27.11.25 進達)
 協議者(日付):沖縄森林管理署長 清水俊二 (H27.11.2)
 同意(期間):平成28年1月15日 付け 27受庁財第4号の1588 (同意日～H31.1.14)

- 37) 【国天】オカヤドカリ、キシノウエトカゲの現状変更(一時捕獲及び移動)の期間変更 (H27.11.25 進達)
 期変者(日付):多良間村長 伊良皆光夫 (H27.11.17)
 許可(期間):平成27年12月8日 付け 27受庁財第4号の1597 (H27.7.17 ~H29.3.31)
- 38) 【国天】荒川のカンヒザクラの現状変更(植物採取)申請 (H27.12.15 進達)
 申請者(日付):公益財団法人 花と緑の銀行 理事長 荒木勝 (H27.11.25)
 許可(期間):平成28年1月15日 付け 27受庁財第4号の1665 (許可日~H29.6.30)
- 39) 【県天】フタオチョウ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H27.12.24 許可)
 申請者(日付):沖縄防衛局長 井上一徳 (H27.11.20)
 許可(期間):平成27年12月24日 付け 沖縄県教育委員会指令第66号 (許可日~H29.3.31)
- 40) 【国天】仲間川天然保護区域の現状変更(水位計設置)申請 (H27.12.21 許可)
 申請者(日付):東京工業大学大学院情報理工学専攻 教授 灘岡和夫 (H27.11.11)
 許可(期間):平成27年12月21日 付け 沖縄県教育委員会指令第63号 (許可日~H30.12.31)
- 41) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)の計画変更 (H28.1.4 進達)
 計変者(日付):沖縄県中部土木事務所 所長 嘉手納良文 (H27.12.28)
 許可(期間):平成28年1月14日 付け 27受庁財第4号の1773 (H25.1.18 ~H30.3.31)
- 42) 【国特】ノグチゲラ、他9種の現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H28.2.8 進達)
 申請者(日付):環境サイエンス株式会社 エリック・ニューマン (H27.12.17)
 許可(期間):平成28年3月11日 付け 27受庁財第4号の1987 (H28.4.4 ~H28.7.2)
- 43) 【県天】指定動物種8種の現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H28.2.8 許可)
 申請者(日付):環境サイエンス株式会社 エリック・ニューマン (H27.12.17)
 許可(期間):平成28年2月8日 付け 沖縄県教育委員会指令第7号 (H28.4.4 ~H28.7.2)
- 44) 【国天】首里金城の大アカギの現状変更(土壌改良)申請 (H28.1.22 進達)
 申請者(日付):那覇市長 城間幹子 (H28.1.19)
 許可(期間):平成28年2月12日 付け 27受庁財第4号の1916 (許可日~H28.3.31)
- 45) 【国天】オカヤドカリの現状変更(採取)申請 (H28.2.8 進達)
 申請者(日付):沖縄オカヤドカリ取扱商組合 組合長 新垣昭 (H28.1.15)
 許可(期間):平成28年3月11日 付け 27受庁財第4号の1986 (許可日~H28.9.30)
- 46) 【県天】指定両生類3種の現状変更(採取)申請 (H28.2.4 許可)
 申請者(日付):琉球大学教育学部 准教授 富永篤 (H28.1.18)
 許可(期間):平成28年2月4日 付け 沖縄県教育委員会指令第4号 (許可日~H30.3.31)
- 47) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生息調査)申請 (H28.2.5 許可)
 申請者(日付):株式会社沖縄環境経済研究所 代表取締役 上原辰夫 (H28.1.19)
 許可(期間):平成28年2月5日 付け 沖縄県教育委員会指令第5号 (許可日~H28.12.31)
- 48) 【県天】嘉津宇岳安和岳および八重岳自然保護区の現状変更(一時捕獲)申請 (H28.2.8 許可)
 申請者(日付):北村崇明 (H28.2.2)
 許可(期間):平成28年2月8日 付け 沖縄県教育委員会指令第6号 (H27.8.1 ~H30.3.31)
- 49) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(昆虫採取)申請 (H28.2.19 進達)
 申請者(日付):学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 ジョナサン・ドーファン (H28.2.3)
 許可(期間):平成28年3月11日 付け 27受庁財第4号の2089 (許可日~H29.3.31)
- 50) 【国特】ノグチゲラ、他9種の現状変更(マングース捕獲器設置)協議 (H28.2.25 進達)
 協議者(日付):沖縄防衛局長 (H28.2.9)
 同意(期間):平成28年4月22日 付け 27受庁財第4号の2101 (同意日~H31.3.31)
- 51) 【県天】与那国島久部良岳天然保護区域の現状変更(放送用鉄塔新設)申請 (H28.3.9 許可)
 申請者(日付):日本放送協会沖縄放送局 局長 細田聡一郎 (H28.2.22)
 許可(期間):平成28年3月9日 付け 沖縄県教育委員会指令第11号 (許可日~H29.3.31)
- 52) 【県天】嘉津宇岳安和岳および八重岳自然保護区の現状変更(昆虫用トラップ設置)申請 (H28.3.9 許可)
 申請者(日付):学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 ジョナサン・ドーファン (H28.2.16)
 許可(期間):平成28年3月9日 付け 沖縄県教育委員会指令第12号 (許可日~H29.3.31)
- 53) 【県天】イボイモリ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.3.25 許可)
 申請者(日付):株式会社沖縄環境分析センター 代表取締役社長 西銘史則 (H28.1.28)
 許可(期間):平成28年3月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第13号 (H27.12.21 ~H28.3.31)
- 54) 【県天】イボイモリ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H28.3.30 許可)
 申請者(日付):沖縄県知事 翁長雄志 (H28.1.28)
 許可(期間):平成28年3月30日 付け 沖縄県教育委員会指令第14号 (許可日~H30.12.21)

5. 埋蔵文化財

(1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

項目 No.	所在地	開発等の種別	事業者（上段） 進達者（下段）	回答内容（所在文化財）
1	本部町	店舗	(株)ふくぎや、(株)クロトン 本部町教育委員会	備瀬貝塚
2	南風原町	公園整備	那覇市・南風原町環境施設組合 南風原町教育委員会	伊武志川原古墓群A地点
3	南風原町	個人住宅兼店舗	個人 南風原町教育委員会	御宿井遺跡

(2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
1	翁長遺物散布地（B地点）	糸満市	個人	個人住宅	工事立会
2	伊武部貝塚	恩納村	託一株式会社	宅地造成	慎重工事
3	東村跡	那覇市	個人	個人住宅	工事立会
4	龍潭及びその周辺	那覇市	沖縄県土木建築部 南部土木事務所長	公園整備	工事立会
5	旧海軍司令部壕	那覇市	沖縄県土木建築部 南部土木事務所長	公園整備	工事立会
6	下袋原貝塚	宜野座村	株式会社グッドラック・コーポレーション	その他の開発	発掘調査
7	新里西本島遺跡	宮古島市	株式会社ユニマットプレシヤス	その他の開発	発掘調査
8	名城遺跡、名城遺物散布地	糸満市	沖縄リゾート株式会社	その他開発	慎重工事
9	御細工所跡	那覇市	那覇市長	学校	発掘調査
10	豊見城グスク、豊見城古島B遺跡、豊見城西原古墓群	豊見城市	沖縄県知事	その他建物	工事立会
11	平敷屋トウバル遺跡	うるま市	原子力規制庁長官官 房放射線防護グループ	電気	発掘調査
12	屋部川口古瓦出土地	名護市	株式会社LUAU	共同住宅	工事立会
13	屋部川口古瓦出土地	名護市	RUN株式会社	共同住宅	工事立会
14	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
15	島ノ前原遺跡	与那原町	個人	個人住宅	工事立会
16	首里旧大中村跡	那覇市	個人	個人住宅	発掘調査
17	玉陵南側の壕群	那覇市	沖縄県土木建築部 南部土木事務所長	公園整備	工事立会
18	運玉原古墓群、平良原古墓群	与那原町	沖縄電力株式会社 電力流通部中央電力所	電気	工事立会
19	中野貝塚	竹富町	竹富町長	その他建物	工事立会
20	小谷山崩原遺物散布地	南城市	個人	個人住宅	慎重工事
21	瀬長グスク、瀬長古島遺跡	豊見城市	豊見城市長	道路等	工事立会

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
22	屋比久グスクおよび周辺遺物 散布地	南城市	個人	個人住宅	発掘調査
23	安志田・苗代原遺物散布地	南城市	個人	個人住宅	慎重工事
24	田原2丁目の壕	那覇市	那覇市長	その他の開発	工事立会
25	稲福遺跡	南城市	個人	その他の開発	工事立会
26	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
27	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
28	豊見城西原遺跡	豊見城市	沖縄県知事	その他の開発	発掘調査
29	高嶺原遺物散布地	豊見城市	個人	その他建物	慎重工事
30	上田古島遺跡	豊見城市	個人	個人住宅	工事立会
31	上田古島遺跡	豊見城市	個人	個人住宅	工事立会
32	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
33	玻名城古島遺跡	八重瀬町	八重瀬町長	その他建物	慎重工事
34	宇茂佐古島遺跡	名護市	新垣産業株式会社	分譲住宅	慎重工事
35	具志頭グスク	八重瀬町	山梨県知事	その他の開発	工事立会
36	運玉原古墓群	与那原町	内閣府沖縄総合事務局 南部国道事務所長	道路	工事立会
37	友利原古墓群	与那原町	内閣府沖縄総合事務局 南部国道事務所長	道路	工事立会
38	屋部貝塚	名護市	個人	その他の建物	工事立会
39	比屋根遺跡	沖縄市	沖縄市長	道路	発掘調査
40	住屋遺跡	宮古島市	沖縄県知事	その他の建物	慎重工事
41	今帰仁村跡	今帰仁村	今帰仁村長	その他の建物	発掘調査
42	仲尾古村遺跡	名護市	仲尾区長	その他の開発	工事立会
43	与那部原貝塚	読谷村	在日米陸軍沖縄基地管理 本部施設営繕環境部長代 理	その他の開発	慎重工事
44	西村跡	那覇市	個人	共同住宅	工事立会
45	喜友名貝塚	宜野湾市	個人	共同住宅	発掘調査
46	天仁屋原遺跡	名護市	天仁屋区長	その他の開発	工事立会
47	運玉原古墓群	与那原町	沖縄県知事	その他の開発	工事立会
48	首里末吉の山陣地と周辺遺跡	那覇市	那覇市長	学校	工事立会
49	大嶺村跡	那覇市	沖縄県知事	その他の開発	工事立会
50	嘉数後原古墓群	豊見城市	個人	個人住宅	慎重工事
51	真玉橋古島A遺跡	豊見城市	沖縄県土木建築部南 部土木事務所長	その他の開発	工事立会

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
52	識名原遺跡	那覇市	個人	共同住宅	工事立会
53	ジリグスク	八重瀬町	八重瀬町長	公園整備等	工事立会
54	大嶺村跡	那覇市	国土交通省大阪航空局長	土砂採取	発掘調査
55	美謝川集落関連遺跡群	名護市	沖縄防衛局長	土砂採取	その他の勧告
56	大川原遺跡	今帰仁村	個人	個人住宅	工事立会
57	慶座原遺物散布地	八重瀬町	沖縄県知事	その他の開発	工事立会
58	クマヤー洞穴遺跡	北谷町	個人	その他の建物	工事立会
59	上田古島遺跡	豊見城市	個人	個人住宅	工事立会
60	溝原貝塚	名護市	西日本電信電話株式会社沖縄支店長	その他の開発	工事立会
61	シガイヌカーの壕群	那覇市	那覇市長	その他の開発	工事立会
62	御宿井遺跡	南風原町	個人	個人住宅兼店舗	工事立会
63	大嶺村跡	那覇市	国土交通省大阪航空局長	空港	慎重工事
64	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
65	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
66	首里旧金城村跡	那覇市	個人	個人住宅	発掘調査
67	平良原古墓群	与那原町	個人	墓地	慎重工事
68	大嶺村跡	那覇市	沖縄県知事	その他の開発	工事立会
69	中野貝塚	竹富町	個人	個人住宅兼事務所	工事立会
70	建善寺跡	那覇市	個人	その他の開発	発掘調査
71	沖縄県営鉄道那覇駅跡	那覇市	旭橋都市再開発株式会社	その他の開発	発掘調査
72	片江原貝塚A地点	読谷村	株式会社沖縄うみの園	観光開発	発掘調査
73	翁長原遺物散布地（A地点）	豊見城市	個人	個人住宅	工事立会
74	宜野湾古集落遺跡ほか	宜野湾市	沖縄防衛局長	施設整備等	工事立会
75	宮国元島遺跡	宮古島市	株式会社ユニマツトプレシヤス	ホテル建設	発掘調査
76	赤間の炭焼窯跡	恩納村	沖縄総合事務局北部国道事務所長	道路	発掘調査
77	下大木原遺跡	読谷村	沖縄総合事務局北部国道事務所長	道路	発掘調査

（3）文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

項目 No.	発見地	遺跡名	届出・通知者	原因	措置状況
1	宮古島市下地字嘉手苅	イリノソコ陣地壕Ⅱ地区	宮古農林水産振興センター所長	土地改良	発掘調査
2	西原町字掛保久後原	掛保久後原古墓群	株式会社ネオ・プランニング	土木工事	発掘調査

項目 No.	発見地	遺跡名	届出・通知者	原因	措置状況
3	宮古島市城辺字新城大牧	大牧古墓群	宮古農林水産振興センター所長	土地改良	発掘調査
4	西原町字小波津後原	小波津後原古墓群	有限会社レキオスハウジング	土地造成	発掘調査
5	那覇市泉崎1丁目	沖縄県営鉄道那覇駅跡	旭橋都市再開発株式会社	再開発事業	発掘調査
6	宮古島市城辺字新城深底	福嶺後古墓群	宮古農林水産振興センター所長	土地改良	発掘調査
7	宮古島市城辺字西里添西底原	山底古墓群	宮古農林水産振興センター所長	土地改良	発掘調査

(4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	首里城跡継世門北地区・書院南地区	H26.3.27	沖縄県教育委員会教育長	国土交通省	陶磁器類、金属製品、石製品、木製品、骨製品、ガラス製品、獣魚骨、貝類 {131}	県立埋蔵文化財センター
2	喜友名前原第三遺跡、喜友名東原第三遺跡	H26.3.24	沖縄県教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、石器、石材、陶磁器など {10箱}	宜野湾市教委
3	具志川城跡	H26.3.13	久米島町教育委員会教育長	久米島町長	中国陶磁器片(青磁)、陶器片、自然遺物(獣骨)、鉄釘 {1箱 28点}	久米島町教委
4	古宇利原B遺跡	H26.10.24	今帰仁村教育委員会教育長	今帰仁村長	土器片、石製品、骨製品、貝製品、自然遺物 {30箱}	今帰仁村教委
5	越来原遺跡	H26.6.13	沖縄市教育委員会教育長	個人	陶磁器片など {1箱}	沖縄市教委
6	大袋原の猪垣	H27.3.31	恩納村教育委員会教育長	有限会社一水社不動産部	陶磁器類(沖縄産陶磁器ほか)、自然遺物(貝殻など) {14箱}	恩納村教委
7	玉城城跡	H27.2.18	南城市教育委員会教育長	南城市長	土器片、類須恵器片、陶磁器片、獣骨片等 {1箱}	南城市教委
8	中城城跡	H27.3.31	中城村教育委員会教育長	中城村長	外国産陶磁器、国内産陶磁器、鉄製品、獣骨、貝殻遺骸 {120箱}	中城村教委
9	大湾アガリヌウガン遺跡	H27.3.31	読谷村教育委員会教育長	読谷村大湾区	土器、石器、青磁、陶器、ガラス瓶、獣骨他 {3箱}	読谷村教委
10	安和与那川原遺跡	H27.3.30	名護市教委育委員会教育長	沖縄県知事	土器、石器、貝製品等 {5箱}	名護市教委
11	(場所) 名護市字辺野古長崎原	H27.6.12	名護市教育委員会教育長	沖縄防衛局長	礎石 {1点}	名護市教委
12	白保竿根田原洞穴遺跡	H27.6.30	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	石材、人骨、獣骨 {1箱}	県立埋蔵文化財センター
13	仲尾古村遺跡	H27.7.3	名護市教育委員会教育長	名護市仲尾区長	陶器、磁器、瓦ほか {1箱}	名護市教委
14	阿波連浦貝塚	H27.9.10	沖縄県教育委員会教育長	渡嘉敷村長	土器、石 {2箱}	県立埋蔵文化財センター
15	大堂原貝塚	H27.9.21	個人	沖縄県知事	貝製品 {1点}	名護市教委

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
16	屋部貝塚	H27. 9. 24	名護市教育委員会教育長	個人	陶器{14点}、磁器{2点}、染付{6点}、瓦{3点}、獣骨{2点}	名護市教委
17	西長浜原遺跡	H27. 9. 19	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科教授 上原 静	今帰仁村長	土器片{1526点}、石器片{66点}、貝製品{4点}、獣魚骨片{103点}、現代遺物{7点}	沖縄国際大学
18	(場所) 名護市字 辺野古長崎原	H27. 10. 30	名護市教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、陶質土器、石器(石製品・石材含む)、陶器、磁器{1箱 17点}	名護市教委
19	具志頭グスク	H27. 9. 25	八重瀬町教育委員会教育長	八重瀬町長	陶磁器類(中国産陶磁器、タイ産陶磁器、沖縄産陶器ほか)、土器、石器、自然遺物(獣骨・貝殻等){1箱}	八重瀬町教委
20	中城御殿跡	H27. 12. 18	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	陶磁器類、金属製品、ガラス製品、獣魚骨類、貝類 {80箱}	県立埋蔵文化財センター
21	中城御殿跡	H27. 10. 9	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	陶磁器、瓦、金属製品、銭貨、玉、ガラス製品、獣魚骨類、貝類 {18箱}	県立埋蔵文化財センター
22	喜友名貝塚	H27. 12. 28	宜野湾市教育委員会教育長	個人	グスク時代の陶磁器など {1箱}	宜野湾市教委
23	前田・経塚近世墓群 [前田西前田原地区]	H27. 12. 28	浦添市教育委員会教育長	浦添市長	蔵骨器7基 蔵骨器片、副葬品、埋葬人骨など {13箱}	浦添市教委
24	長浜貝塚	H27. 12. 28	読谷村教育委員会教育長	個人	土器、石器、貝製品、獣魚骨、貝殻 {5箱}	読谷村教委
25	(場所) キャンプ瑞 慶覧(東普天間住宅 地区)	H28. 3. 24	沖縄県教育委員会教育長	沖縄防衛局長	陶磁器、瓦等 {1箱}	県立埋蔵文化財センター
26	フクヂ山古墓群	H27. 4. 17	那覇市教育委員会教育長	浦添市長	蔵骨器・陶磁器・人骨片等{90箱}	那覇市教委
27	上間当り原遺跡	H27. 9. 3	那覇市教育委員会教育長	個人	グスク土器・陶磁器・獣骨等{1箱}	那覇市教委
28	当間安座間原遺跡	H27. 4. 23	那覇市教育委員会教育長	航空自衛隊 那覇基地	沖縄貝塚時代後期土器 獣骨等{1箱}	那覇市教委
29	鏡水崎原遺跡	H27. 9. 30	那覇市教育委員会教育長	国土交通省	沖縄貝塚時代後期土器 石材等{1箱}	那覇市教委
30	フクヂ山古墓群	H27. 10. 30	那覇市教育委員会教育長	浦添市長	蔵骨器・人骨片等{2箱}	那覇市教委
31	識名原遺跡	H27. 11. 27	那覇市教育委員会教育長	個人	沖縄貝塚時代後期土器等{1箱}	那覇市教委
32	大嶺村跡	H27. 12. 25	那覇市教育委員会教育長	国土交通省 防衛省	陶磁器等{1箱}	那覇市教委
33	末吉村跡	H28. 1. 29	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	土器・陶磁器片等{16箱}	那覇市教委
34	御細工所跡	H28. 1. 29	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	陶磁器等{60箱}	那覇市教委
35	首里旧金城村跡	H28. 2. 22	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	陶磁器等{9箱}	那覇市教委
36	ナイクブ古墓群	H28. 1. 29	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	蔵骨器・陶磁器等 {19箱}	那覇市教委

(5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	新垣グスク	S47.8.29	中城村教育委員会 教育長	中城村新垣 自治会長	外国産陶磁器、国内産陶磁器、 土器、金属製品、獣骨、貝殻遺 骸、石器 {2箱}	中城村教委
2	中城城跡	H24.11.30	中城村教育委員会 教育長	中城村長	陶磁器類(中国産・沖縄産陶 磁器等)、土器、石器、金属 製品、自然遺物(貝殻・獣魚 骨等) {50箱}	中城村教委
3	小堀原遺跡	H21.3.31	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	陶磁器類、土器、石器、獣骨、 貝殻等 {414箱}	北谷町教委
4	小堀原遺跡	H19.2.25	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	人工遺物(陶磁器類、土器、石 器類)、自然遺物(貝殻など) {44箱}	北谷町教委
5	小堀原遺跡	H21.2.20	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	陶磁器類、土器、石器、獣骨、 貝殻等 {212箱}	北谷町教委
6	伊礼原遺跡	H20.11.25	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	陶磁器類(中国産陶磁器・沖縄 産陶器・本土産磁器)、土器、 石器、獣骨、貝殻等 {129箱}	北谷町教委
7	伊礼原遺跡	H24.7.31	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	陶磁器類(中国産陶磁器・沖縄 産陶器・本土産磁器)、土器、石 器、獣骨、貝殻等 {146箱}	北谷町教委
8	伊礼原E遺跡	H17.12.28	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	土器、陶磁器、石器、貝製品、 骨製品、炭、木類、貝類、 獣魚骨類、軽石、自然礫類 {253箱}	北谷町教委
9	平安山原A遺跡	H21.3.27	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	陶磁器類、土器、石器、獣骨、 貝殻等 {10箱}	北谷町教委
10	平安山原A遺跡	H22.2.25	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	陶磁器類、土器、石器、獣骨、 貝殻等 {197箱}	北谷町教委
11	平安山原A遺跡	H23.2.21	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	陶磁器類(中国産陶磁器・沖縄 産陶器・本土産磁器)、土器、 石器、獣骨、貝殻等 {300箱、 土囊421袋}	北谷町教委
12	平安山原A遺跡	H24.1.31	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	土器、陶磁器類(中国産陶磁 器・沖縄産陶器・本土産磁器)、 石器、貝、獣骨、その他 {170 箱}	北谷町教委
13	平安山原A遺跡	H22.12.10	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	陶磁器類、土器、石器、瓦、獣 骨、貝殻等 {106箱}	北谷町教委
14	平安山原B遺跡	H21.12.18	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	陶磁器類、土器、石器、獣骨、 貝殻等 {94箱}	北谷町教委
15	平安山原B遺跡	H22.2.19	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	陶磁器類、土器、石器、獣骨、 貝殻等 {150箱}	北谷町教委
16	平安山原B遺跡	H23.12.26	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	陶磁器類(中国産陶磁器・沖縄 産陶器・本土産磁器)、須恵器、 土器、石器、貝製品、獣骨、貝 殻等 {94箱}	北谷町教委
17	平安山原C遺跡	H21.9.30	北谷町教育委員会 教育長	北谷町長	陶磁器類、土器、石器、獣骨、 貝殻等 {1662箱}	北谷町教委
18	クランモー	H25.10.31	北谷町教育委員会 教育長	内閣府沖縄総 合事務局南部 国道事務所長	陶磁器類(沖縄産陶器・本土産 磁器)、獣骨等 {1箱}	北谷町教委

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
19	中頭方西海道及び 普天間参詣道	H27.3.6	浦添市教育委員 会教育長	浦添市長	陶磁器、瓦等 {1箱}	浦添市教委
20	城間東空寿古墓群	H27.2.9	浦添市教育委員 会教育長	沖縄県知事	蔵骨器59基 蔵骨器片、その 他の陶磁器、古人骨など{45箱}	浦添市教委
21	中城城跡	H27.3.31	中城村教育委員 会教育長	中城村長	外国産陶磁器、国内産陶磁器、 土器、鉄製品、獣骨、貝殻遺骸 {120箱}	中城村教委
22	(場所) 名護市宇 辺野古長崎原	H27.6.12	名護市教育委員 会教育長	沖縄防衛局 長	礎石 {1点}	名護市教委
23	渡喜仁立石原古墓	H26.10.31	今帰仁村教育委員 会教育長	今帰仁村長	通事器片、木製品、人骨、ガラ ス製ビーズ陶 {50箱}	今帰仁村教委
24	塩屋貝塚	H21.4.19	恩納村教育委員 会教育長	恩納村長	陶磁器類(中国産陶磁器、沖縄 産陶磁器ほか)、土器、貝殻 {80箱}	恩納村教委
25	浦添城跡	H27.2.27	浦添市教育委員 会教育長	沖縄県知 事、浦添市 長	陶磁器、瓦等 {44箱}	浦添市教委

(6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在 市町村	調査主体・調査担当者	調査目的	遺跡の主な時期・性格及び 遺構等
1	西長浜原遺跡	今帰仁村	沖縄国際大学 教授 上原静	学術研究	縄文・集落跡
2	網取遺跡	竹富町	東海大学 教授 北條芳隆	学術研究	近世・集落跡

(7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在 市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
1	大湾アガリヌウガン 遺跡	読谷村	読谷村教育委員 会	小原裕也	保存目的	グスク・集落跡
2	中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財 センター	山本正昭	保存目的	グスク・御殿跡
3	首里平良橋周辺遺 跡	那覇市	那覇市教育委員 会	樋口麻子	道路	グスク・交通遺跡
4	白保竿根田原洞穴 遺跡	石垣市	県立埋蔵文化財 センター	仲座久宜	保存目的	旧石器・洞穴遺跡
5	前田・経塚近世墓群 (前田前原)	浦添市	浦添市教育委員 会	佐伯信之	区画整理	近世・墓
6	仲尾古村遺跡	名護市	名護市教育委員 会	松原彰子	その他の開発	近世・集落跡
7	安和与那川原遺跡	名護市	名護市教育委員 会	宮城智浩	河川	縄文・散布地
8	首里旧大中村跡	那覇市	那覇市教育委員 会	安斎真知子	住宅	グスク・集落跡
9	阿波連浦貝塚	渡名喜村	県立埋蔵文化財 センター	宮城淳一	保存目的	縄文・貝塚
10	掛保久後原古墓群	西原町	西原町教育委員 会	山田浩久	墓地	近世・墓
11	前田・経塚近世墓群 (前田西前田原地区)	浦添市	浦添市教育委員 会	瑞慶覧長順	区画整理	近世・墓

項目 No.	遺跡名	所在 市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
12	サキタリ洞遺跡	南城市	沖縄県立博物館・美術館	山崎真治	学術	旧石器～弥生・散布地
13	フクジ山古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	當銘由嗣	道路	近世・墓
14	西長浜原遺跡	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	與那嶺俊	観光開発	縄文・集落跡
15	屋比久グスクおよび 周辺遺物散布地	南城市	南城市教育委員会	勢理客智也	個人住宅	グスク・グスク
16	屋部貝塚	名護市	名護市教育委員会	松原彰子	その他の建物	弥生・貝塚
17	首里当蔵旧水路	那覇市	那覇市教育委員会	樋口麻子	道路	近代・水路跡
18	小波津後原古墓群	西原町	西原町教育委員会	山田浩久	その他の開発	近世・墓
19	御細工所跡	那覇市	那覇市教育委員会	玉城安明	学校	近世・生産遺跡
20	下袋原貝塚	宜野座村	宜野座村教育委員会	田里一寿	その他の開発	縄文・貝塚
21	那覇市大嶺海岸の 石切場跡	那覇市	那覇市教育委員会	仲宗根啓	空港	近世・生産遺跡
22	首里旧金城村跡	那覇市	那覇市教育委員会	安斎真知子	道路	近世・交通遺跡
23	喜友名貝塚	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	来間千明	住宅	縄文・集落跡
24	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	内間靖	公園造成	近世・墓
25	末吉村跡	那覇市	那覇市教育委員会	内間靖	公園造成	近世・集落跡
26	長浜貝塚	読谷村	読谷村教育委員会	仲宗根求	墓地	縄文・貝塚
27	今帰仁村跡	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	與那嶺俊	その他の開発	グスク・集落跡
28	比屋根遺跡	沖縄市	沖縄市教育委員会	縄田雅重	道路	近世・御嶽等
29	中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	羽方誠	公園造成	グスク・御嶽跡
30	沖縄県営鉄道那覇 駅跡	那覇市	那覇市教育委員会	内間靖	その他の開発	近代・交通遺跡
31	御宿井遺跡	南風原町	南風原町教育委員会	保久盛陽	個人住宅兼店舗	グスク・その他の遺跡
32	首里旧金城村跡	那覇市	那覇市教育委員会	仲宗根啓	個人住宅	近世・社寺跡
33	津嘉山古島遺跡、ク ニンドー遺跡	南風原町	南風原町教育委員会	保久盛陽	道路	中世・集落跡
34	大嶺村跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	大堀皓平	管制塔、埋設管	近世・集落跡
35	建善寺跡	那覇市	那覇市教育委員会	仲宗根啓	駐車場	近世・社寺跡
36	大見武古島遺跡、 平良原古墓群	与那原町	与那原町教育委員会	宮城明恵	道路	近世・集落跡、墓
37	沖縄県営鉄道那覇 駅跡(遺跡範囲変更後)	那覇市	那覇市教育委員会	内間靖	その他の開発	近代・交通遺跡
38	片江原貝塚A地点	読谷村	読谷村教育委員会	上地克哉	観光開発	弥生・貝塚
39	与那覇グスク	南風原町	南風原町教育委員会	保久盛陽	電気工事	近世・包含層

項目 No.	遺跡名	所在地 市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
40	赤道シキロー流域 古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	長濱健起	道路	近世、近代・散布地 ほか
41	神山後原丘陵古墓 群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	長濱健起	道路	近世、近代・散布地 ほか
42	宜野湾・神山シリ ガール流域古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	長濱健起	道路	近世、近代・散布地 ほか
43	トゥマイグシク	読谷村	読谷村教育委員会	小原裕也	保存、確認	グスク・城館跡
44	下大木原遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	小原裕也	道路	縄文・集落跡
45	当間安座間原遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	仲宗根啓 他	航空自衛隊那覇基地内の整備 場建設に伴う確認調査(新規発 見)	弥生～平安・集落跡
46	屋比久グスクおよび 周辺遺物散布地	南城市	南城市教育委員会	横山幸平	住宅建設に伴う試掘調査(範囲 等変更)	グスク・グスク等
47	豊見城西原遺跡	豊見城市	豊見城市教育委員会	宮城良真	空手会館建設に伴う試掘・確認 調査(新規発見)	グスク・集落跡
48	新城上殿遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	開発事業に伴う試掘調査(範囲 等変更)	グスク、近世・集落 跡
49	上間当り原遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	仲宗根啓	住宅建設に伴う確認調査(新規 発見)	グスク、近世・集落 跡
50	鏡水崎原遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	仲宗根啓 他	電源局舎新築に伴う確認調査 (新規発見)	弥生～平安・集落跡
51	新城大道原第一遺 跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	開発事業に伴う試掘調査(新規 発見)	縄文、グスク、 近世・集落跡
52	新城大道原第二遺 跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	開発事業に伴う試掘調査(新規 発見)	近世、近代・集落跡
53	新城大道原第三遺 跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	開発事業に伴う試掘調査(新規 発見)	中世～近代・集落跡
54	喜友名山川原第八 遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	開発事業に伴う試掘調査(新規 発見)	縄文、グスク、近世・集 落跡
55	喜友名山川原第九 遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	開発事業に伴う試掘調査(新規 発見)	縄文、グスク、近世・集 落跡
56	喜友名山川原第十 遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	開発事業に伴う試掘調査(新規 発見)	近世、近代・石積暗渠
57	沖縄県営鉄道那覇 駅跡	那覇市	那覇市教育委員会	内間靖	再開発ビル建設に伴う確認調査 (範囲等変更)	近代・交通遺跡

(8) 埋蔵文化財発掘調査・分布調査事業一覧(文化財保護担当部局予算計上)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

項目 No.	事業名	所在地	調査主体	目的	経費(千円)	財源(%)
1	阿波連浦貝塚	渡嘉敷村	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	3,734	国80、県20
2	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	15,004	国80、県20
3	普天間石川原第二遺跡ほか2 遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	90,718	国80、県20
4	イラフ道ほか	国頭村	国頭村教育委員会	確認調査 資料整理	21,783	国80、市20
5	今帰仁城跡	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	確認調査 資料整理	26,409	国80、県2.3、市17.7
6	藪地洞穴遺跡	うるま市	うるま市教育委員会	確認調査 資料整理	3,692	国80、県2.3、市17.7
7	勝連城跡	うるま市	うるま市教育委員会	確認調査 資料整理	11,464	国80、県2.3、市17.7
8	越来グスク他1件遺跡	沖縄市	沖縄市教育委員会	資料整理	7,602	国80、県16.1、市 3.9
9	大湾アガリヌウガン遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	確認調査 資料整理	11,680	国80、村20
10	トゥマイグシク	読谷村	読谷村教育委員会	確認調査 資料整理	7,824	国80、村20

項目 No.	事業名	所在地	調査主体	目的	経費(千円)	財源(%)
11	長浜貝塚	読谷村	読谷村教育委員会	確認調査 資料整理	3,479	国80、村20
12	台グスク遺跡	中城村	中城村教育委員会	確認調査 資料整理	1,137	国80、県16.1、市3.9
13	中城城跡	中城村	中城村教教委	確認調査 資料整理	34,421	国80、県2.3、市17.7
14	中城ハンタ道	中城村	中城村教教委	確認調査 資料整理	23,000	国80、県2.3、市17.7
15	喜友名貝塚	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	発掘調査 資料整理	97,195	国80、市20
16	浦添城跡	浦添市	浦添市教育委員会	確認調査 資料整理	18,535	国80、県2.3、市17.7
17	首里旧大中村跡 ほか3遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	発掘調査	22,699	国80、市20
18	南山グスク	糸満市	糸満市教育委員会	確認調査	5,566	国80、県16.1、市3.9
19	具志川城跡	糸満市	糸満市教育委員会	確認調査 資料整理	7,372	国80、県2.3、市17.7
20	屋比久グスク及び周辺遺物散布地	南城市	南城市教育委員会	発掘調査	2,539	国80、県16.1、市3.9
21	知念城跡	南城市	南城市教育委員会	確認調査 資料整理	1,308	国80、県2.3、市17.7
22	糸数城跡	南城市	南城市教育委員会	確認調査 資料整理	4,864	国80、県2.3、市17.7
23	伊武志川原古墓群A地点	南風原町	南風原町教育委員会	確認調査	769	国80、県16.1、市3.9
24	具志川城跡	久米島町	久米島博物館	確認調査 資料整理	1,315	国80、県2.3、市17.7
25	忠導氏仲宗根家	宮古島市	宮古島市教育委員会	確認調査	190	国80、県16.1、市3.9
26	尻並第2遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	発掘調査	3,340	国80、市20
27	フルスト原遺跡	石垣市	石垣市教育委員会	確認調査 資料整理	1,782	国80、県2.3、市17.7

(9) 事業者(原因者)負担による埋蔵文化財発掘調査一覧

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費(千円)	主な財源
1	普天間古集落遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	病院建設	発掘調査 資料整理	28,784	沖縄防衛局
2	首里高校内中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	学校建設	発掘調査 資料整理	62,249	沖縄県
3	東村跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	宿舎等建設	資料整理	9,146	沖縄県
4	大嶺村跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	空港建設	発掘調査	28,948	大阪航空局
5	首里城跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	史跡整備 (国営公園整備)	発掘調査 資料整理	37,961	沖縄総合事務局
6	中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	公園整備 (県営公園)	発掘調査 資料整理	41,740	沖縄県
7	安和与那川原遺跡	名護市	名護市教育委員会	河川改修	発掘調査	30,793	沖縄県

項目 No.	遺 跡 名	所在地	調 査 主 体	原 因	業務内容	経 費 (千円)	主な財源
8	下袋原貝塚	宜野座村	宜野座村教育委員会	結婚式場の建設	発掘調査	27,000	(株)グッドラック・コーポレーション
9	億首川流域古墓群 (田慶志原・福花原地区)	金武町	金武町教育委員会	国道バイパス建設	発掘調査	10,144	沖縄総合事務局北部 国道事務所
10	ナガラ原第三貝塚 他2遺跡	伊江村	伊江村教育委員会	浸透池等の建設	資料整理	3,281	沖縄県
11	護岸の銃座	うるま市	うるま市教育委員会	護岸改修工事	発掘調査 資料整理	4,518	沖縄県
12	比屋根遺跡	沖縄市	沖縄市教育委員会	道路	発掘調査	7,432	沖縄市
13	下大木原遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	道路建設	発掘調査	8,946	沖縄総合事務局 北部国道事務所
14	片江原貝塚A地点	読谷村	読谷村教育委員会	観光開発	発掘調査	8,716	(株)沖縄うみの園
15	平安山原A遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	桑江伊平土地 地区画整理 事業	資料整理	62,355	事業者
16	クランモー	北谷町	北谷町教育委員会	国道58号拡 幅	資料整理	4,590	事業者
17	神山後原丘陵古墓 群ほか2遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	巡回道路移 設	発掘調査	57,710	沖縄防衛局
18	普天間後原第二遺 跡ほか4遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	海軍病院建 設	資料整理	31,134	沖縄防衛局
19	前田・経塚近世墓 群西前田原地区・ 前原地区	浦添市	浦添市教育委員会	土地地区画 整理事業	発掘調査 資料整理	64,102	浦添市
20	城間東空寿古墓群	浦添市	浦添市教育委員会	道路建設	資料整理	10,016	沖縄県
21	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	発掘調査	33,892	沖縄県
22	末吉村跡	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	発掘調査	24,431	国土交通省
23	フクヂ山古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	道路	資料整理	10,431	国土交通省
24	那覇市大嶺海岸の 石切場等跡	那覇市	那覇市教育委員会	空港	発掘調査 資料整理	22,544	内閣府
25	首里平良橋周辺遺 跡	那覇市	那覇市教育委員会	河川	発掘調査 資料整理	105,980	国土交通省
26	泊・崇元寺西方遺 跡	那覇市	那覇市教育委員会	住宅	資料整理	1,146	事業者
27	天久貝塚	那覇市	那覇市教育委員会	その他開発	資料整理	8,510	国土交通省
28	首里旧金城村跡	那覇市	那覇市教育委員会	道路	発掘調査 資料整理	52,935	内閣府

項目 No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費(千円)	主な財源
29	沖縄県営鉄道 那覇駅跡	那覇市	那覇市教育委員会	その他建物	発掘調査	20,412	事業者
30	御細工所跡	那覇市	那覇市教育委員会	学校建設	発掘調査	52,920	内閣府
31	豊見城西原遺跡	豊見城市	豊見城市教育委員会	駐車場	発掘調査	21,801	沖縄県
32	新里西元島遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	ホテル開発	発掘調査	3,472	ユニマツトプレシャス
33	砂川元島遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	ホテル開発	発掘調査	2,290	ユニマツトプレシャス
34	宮国元島遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	ホテル開発	発掘調査	1,766	ユニマツトプレシャス
35	イリノソコ陣地壕 群Ⅱ地区	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	発掘調査	778	沖縄県宮古農林水産 振興センター
36	大牧古墓群	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	発掘調査	400	沖縄県宮古農林水産 振興センター
37	山底古墓群	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	発掘調査	216	沖縄県宮古農林水産 振興センター
38	福嶺後古墓群・福 嶺後陣地壕群	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	発掘調査	2,355	沖縄県宮古農林水産 振興センター
39	ミノズマ遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	資料整理	12,098	沖縄県宮古農林水産 振興センター
40	村越岩陰墓・長中岩 陰墓・イリノソコ岩 陰墓	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	資料整理	4,087	沖縄県宮古農林水産 振興センター
41	野底遺跡	石垣市	石垣市教育委員会	リゾート開発	資料整理	5,253	八重山リゾート 株式会社

(10) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所文化財担当者専門研修参加者一覧

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

項目 No.	研修名	期間	参加者	所属
1	文化財担当者専門研修「報告書作成Ⅰ(編集 基礎)課程」	平成27年7月6日～ 7月10日	安斎 真知子	那覇市教育委員会
2	文化財担当者専門研修「報告書作成Ⅱ(応用 制作)課程」	平成27年7月13日～ 7月17日	安斎 真知子	那覇市教育委員会
3	文化財担当者専門研修「三次元計測課程」	平成27年9月28日～ 10月2日	中島 徹也	久米島町教育委員会

(11) 鉱業権法第24条の規定に基づく協議

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

項目 No.	出願地	出願番号	鉱種名	出願 種類	回答内容	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
1	宮古島市	27 沖経出採般第2号	石灰岩	採掘	該当なし	地域を定めず指定された 天然記念物
2	八重瀬町	28 沖経出採般第1号	石灰岩	採掘	世名城古島遺跡	地域を定めず指定された 天然記念物
3	うるま市	28 沖経出採般第2号	石灰岩	採掘	スンチ遺物散布 地	地域を定めず指定された 天然記念物

6. 円覚寺跡保存整備事業（文化庁国庫補助事業）

（1）事業の概要

円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために1492年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。

琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和8年1月23日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊され、国宝指定は解除された。戦後、総門や放生橋等の一部が復元整備され、公開されているが、それ以外の建造物群等は旧琉球大学運動場整備に伴い、客土による遺構の保護が行われていた。

本史跡は、県営公園の範囲に含まれており、隣接する首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備及び公園整備事業（国、県土木建築部）との整合性を図り、その保全と活用・公開等を図るため、国の補助を受けて保存整備事業を実施している。

当該事業は、平成9年度から平成13年度までの5ヶ年計画で整備に先駆けて遺構調査が実施され、調査並びに聞き取り調査の成果に基づいて、平成14年度より境内を取り巻く石牆（土留め石積み）の復元整備を実施し、平成26年度から三門復元に取り組んでいる。

（2）円覚寺跡整備委員会及び整備指導

①平成28年3月29日（沖縄県立芸術大学会議室）

第1回 整備委員会

平成27年度は、10月に文化庁にて開催された「史跡等における歴史的建造物の取扱に関する専門委員会」における三門復元の基本設計等について審議結果を踏まえて整備委員会を開催し、専門委員会での指摘事項について検討を行った。

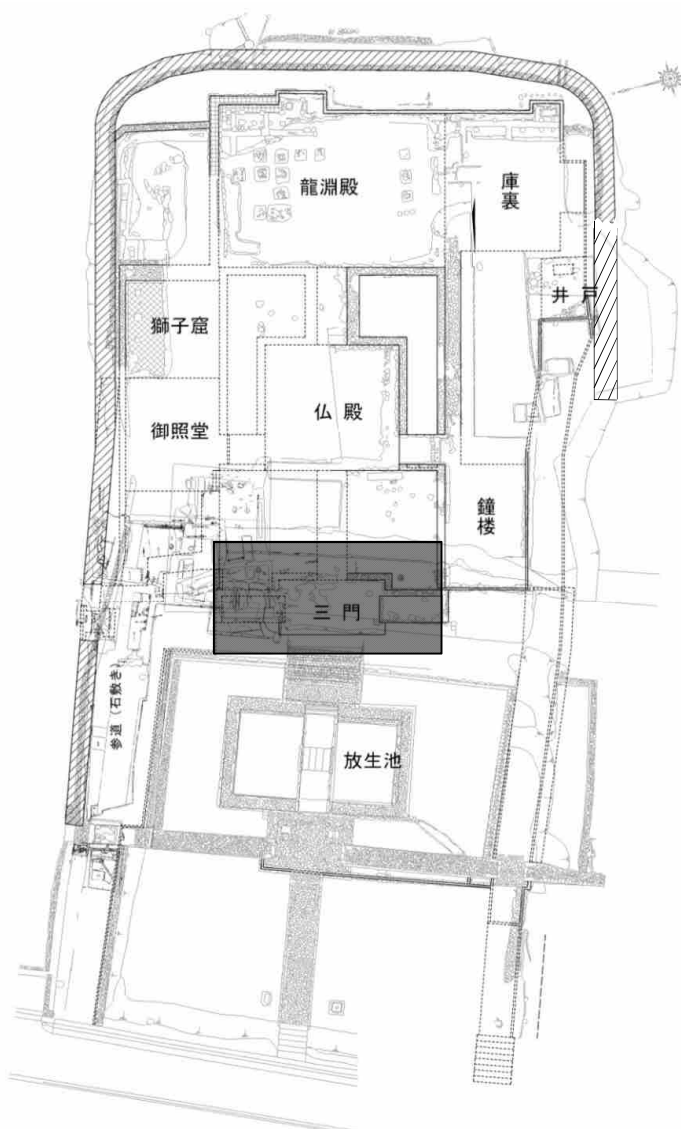
（3）円覚寺跡保存整備事業の事業費並びに事業箇所の推移

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・管理）
平成14年度	・石牆（土留め石積み） 修復工事（97.1㎡） ・工事用道路の設置	35,000	27,000	28,822.50	委託料費 5,617.40 ・設計 4,649.40 ・監理 968
平成15年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（48.1㎡）	15,000	12,000	工事経費 9681	委託料費 4,935 ・設計 3,360 ・監理 1,575
平成16年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（28.1㎡） ・工事用道路の設置 ・既存石積みの解体	15,000	12,000	工事経費 8999.55	委託料費 5,355 ・設計 3,360 ・監理 1,291.50 ・測量 703.5
平成17年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（43.0㎡）	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料費 5,281.70 ・設計 2,324.70 ・監理 2,259.60 ・測量 697.4
平成18年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（42.0㎡）	13,500	10,800	工事経費 8,999.55	委託料費 3,525.00 ・設計 1,079.40 ・監理 2,445.60
平成19年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（30.0㎡）	14,986	11,988	工事経費 7,001.40	委託料費 3,865.00 ・設計 1,575.00 ・監理 1,786.00 ・測量 504
平成20年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（29.4㎡）	14,407	11,525	工事経費 6,990.90	委託料費 3,705.00 ・設計 1,680.00 ・監理 1,694.70 ・化学測定 330.3
平成21年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（27.0㎡）	14,340	11,472	工事経費 6,770.40	委託料費 3,771.00 ・設計 1,785.00 ・監理 1,470.00 ・伐採 516

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料 (設計・管理)
平成22年度	石牆 (土留めの石積み) 修復工事 (44.5㎡)	17,677	14,141	工事経費 9,921.45	委託料費 3,768.45 ・設計 1,732.50 ・監理 1,695.75 ・年代測定 340.2
平成23年度	三門地区地耐力調査	5,000	4,000	工事経費 0	委託料費 4,730,668 ・地耐力調査 4,730,668
平成24年度	石牆 (土留めの石積み) 修復工事 (17.5㎡)	19,229	15,383	工事経費 8,998	委託料費 3,769.00 ・設計 1,832.00 ・監理 1,937.00
平成25年度	石牆 (土留め石積み)	17,587	14,068	工事経費 4042.5	委託料費 2,702.80 ・設計 1,570.80 ・管理 1,132.00
平成26年度	三門復元基本設計	9,185	0	工事経費 0	委託料費 8,640.00 ・設計 8,640.00
平成27年度	三門復元基本設計	1,056	717	工事経費 0	委託料費 712.80 ・測量 712.80

平成27年度 円覚寺跡保存整備事業

沖縄県立芸術大学側



首里城側

【凡例】

平成27年度復元検討箇所	
--------------	--



7. 新たに国の指定になった文化財

(1) 記念物の指定

- ① アマミクヌムイ（アマミクの杜）
今鬼神ノカナヒヤフ（テンチジアマチジ）及びこはおの御嶽（クバの御嶽）
久高コハウ森（久高のフボー御嶽）

種 別：名勝

所 在 地：沖縄県国頭郡今帰仁村字今泊、沖縄県南城市知念字久高

所 有 者：今帰仁村今泊区、南城市久高区

指 定 基 準：名勝の部 三 花樹、花草、紅葉、緑樹などの叢生する場所
十 山岳、丘陵、高原、平原、河川

指定をする理由： アマミクは琉球開闢神話にまつわる琉球国の国土創生神で、琉球王府が編纂を命じた歌謡集『おもろさうし』、琉球国の正史である『中山世鑑』など4つの史料に登場する。神話は、天上界の主神である天帝の命により、天上から降臨したアマミクが順を追って御嶽を創造し、琉球国土の起源となったと伝える。それらは、沖縄本島及びその周辺の島において、今もなお独特の地形・植生から成る聖地としての良好な風致景観を伝える。開闢神話にまつわる御嶽は13か所から成り、今回はそのうちの条件が整った2か所を指定する。

「今鬼神ノカナヒヤフ（テンチジアマチジ）及びこはおの御嶽（クバの御嶽）」は、沖縄本島北部西岸の本部半島の北辺に位置する今帰仁グスク及びその南方の小丘に所在し、『おもろさうし』の歌謡がそれらを崇める今帰仁グスクの按司を誉め、聖地としての風致を豊かに謡い上げた2つの御嶽である。

「久高コハウ森（久高のフボー御嶽）」は、沖縄本島南部の知念半島沖に浮かぶ久高島にあり、琉球王府が国家的に重視していた御嶽で、固有の地形・地質及び植生が幽邃な聖地としての風致を伝える。

官 報 告 示：平成27年10月7日付け文部科学省告示第169号

- ② 久高島の海岸植物群落

種 別：天然記念物

所 在 地：沖縄県南城市知念字久高

所 有 者：久高区、南城市

指 定 基 準：天然記念物の部 2（植物）

5 海岸及び沙地植物群落の代表的なもの

指定をする理由： 久高島は沖縄本島南部にある南城市知念半島の東方海上5.5kmに位置し、北東から南西方向に長さ3.2km、幅0.6kmほどの低平な島である。地質は新第三紀島尻層群を基盤とし、それを更新世の琉球層群である琉球石灰岩が覆い、南西部の一部に砂丘地が分布する。サンゴ礁は島を囲むように発達しているが、東海岸では礁原や礁池が発達するものの、西海岸は礁の発達が悪く礁原などの形成はみられない。また地形では、島東側の南部から北部にかけての海岸では砂浜が卓越し、島の北部では隆起サンゴ礁、島西側の海岸は崖地と様々な地形が見られる。

久高島は琉球王国時代において最高の聖域と位置づけられ、その後も大きな開発が行われず、人為的攪乱が少なかった。島の様々な地形に対応した植物群落が良好に残され、亜熱帯地域の南西諸島に生育する多様な海岸植物群落を同所的に確認できる。砂浜植生、隆起サンゴ礁上植生、海崖地植生などの海岸植物群落、風衝低木林が一つの島に発達し、非常に良好な環境が残された貴重な地域であり、天然記念物に指定するものである。

官 報 告 示：平成27年10月7日付け文部科学省告示第170号

③ ンタナーラのサキシマスオウノキ群落

種 別：天然記念物
所在地：沖縄県石垣市字宮良
所有者：石垣市
指定基準：天然記念物の部 2 (植物)

2 代表的原始林、稀有の森林植物相

指定をする理由： サキシマスオウノキはアオイ科サキシマスオウノキ属の常緑高木である。インド洋、太平洋岸の熱帯・亜熱帯地域に広く分布し、日本では奄美大島を北限とし、沖縄島、先島諸島に分布している。果実は外殻につやがあり硬く、内部に空隙の多い構造で水によく浮き、散布様式は潮流散布型と考えられる。このため、分布は潮汐が達する潮間帯湿地やマングローブ後背林として群落を形成しており、通常は沿岸地に分布する。

対象地域は、石垣島の中央北部に位置する桴海於茂登岳（標高477m）の東麓部から出ているンタナーラ川と呼ばれる河川と、桴海と宮良をつなぐ於茂登トンネルの南出口が交わる地域周辺である。サキシマスオウノキ群落は、海岸から9km以上離れ、標高が60～100mの地域に発達している。周辺の尾根筋や斜面のやや乾燥した地域にはケナガエサカキースダジイ群集、斜面下部や湿潤な谷部にはオキナワウラジロガシ群集など山地性の自然林が発達している。サキシマスオウノキは河川沿いの不安定な崩壊地で常に過湿な環境に群落を形成している。このような海岸から離れた溪流沿いに群落が発達している例は少なく、学術的価値の高いものとして貴重である。

官 報 告 示：平成28年3月1日付け文部科学省告示第29号

④ 伊平屋島の念頭平松

種 別：天然記念物
所在地：沖縄県島尻郡伊平屋村字田名
所有者：伊平屋村
指定基準：天然記念物の部 2 (植物)

1 名木、巨樹、老樹、畸形木、栽培植物の原木、並木、社叢

指定をする理由： リュウキュウマツはトカラ列島の悪石島から先島諸島の西表島までに分布する固有種である。念頭平松は幹周4.5m、樹高約8mと幹の太さや高さはそれほど大きくはないが、枝張り東西約28m、南北約24mという巨大な枝振りの優美な樹形のリュウキュウマツで、天然記念物「久米の五枝のマツ」とともにリュウキュウマツの二大名木として著名である。マツ類では珍しく半円形の傘のような自然樹形を形成している。伊平屋島には松枯れ病を発症させる線虫を媒介するマツノマダラカミキリが確認されていないため、地元ではマツの苗木や材の持ち込み等を禁止して保護を図っている。

念頭平松の枝振りの美しさについては、伊平屋村に伝わる古歌である大田名節の一節などに歌われ、昭和12年に沖縄県山林會により作成された「老樹名木誌」に「枝ノ形状饅頭形ニシテ庭園ノ盆栽仕立ノ如シ」と形容されるなど、古くから樹形の優美な樹木として地元住民に認識されていた。地域の人々に親しまれ保護されてきた、リュウキュウマツの名木として貴重である。

官 報 告 示：平成28年3月1日付け文部科学省告示第29号

① 名勝 アマミクヌムイ (アマミクの杜)



今鬼神ノカナヒヤフ (テンチジアマチジ)

久高コハウ森 (久高のフボー御嶽：中心祭場)

② 天然記念物 久高島の海岸植物群落



フボー御嶽の植物群落

西海岸 (ウガン浜) の植物群落

③ 天然記念物 ンタナーラのサキシマスオウノキ群落



ンタナーラ中流域の群落

ンタナーラ下流側の群落

④ 天然記念物 伊平屋島の念頭平松



伊平屋島の念頭平松 (近景)

伊平屋島の念頭平松 (幹)

(2) 記念物の追加指定

① 今帰仁城跡附シイナ城跡

種 別：史跡
所 在 地：沖縄県国頭郡今帰仁村字今泊
所 有 者：今帰仁村ほか
指 定 基 準：史跡の部

二 都城跡、国郡庁跡、城跡、官公庁、戦跡その他政治に関する遺跡
指定をする理由： 今帰仁城跡は13世紀の琉球王国統一以前の北山王の居城。琉球屈指の城跡
で、周辺には集落跡や石積遺構、湧泉などがある。シイナ城跡は、今帰仁城跡
築城の直前に築かれたもの。今回、両者で条件の整った部分を追加指定する。
官 報 告 示：平成27年10月7日付け文部科学省告示第173号

② 川平湾及び於茂登岳

種 別：名勝
所 在 地：沖縄県石垣市字崎枝
所 有 者：石垣市
指 定 基 準：名勝の部 八 砂丘、砂嘴、海浜、島嶼
十 山岳、丘陵、高原、平原、河川
十一 展望地点

指定をする理由： 川平湾は琉球王府への貢納船の風待ちの場所であったほか、沖縄県最高峰の
於茂登岳には八重山諸島の創生神話が伝わる。隆起珊瑚礁の島嶼から成る海浜
と亜熱帯樹林が覆う山岳が一体を成す美しい風致景観。条件の整った山麓の部
分を追加指定する。
官 報 告 示：平成27年10月7日付け文部科学省告示第176号

① 史跡 今帰仁城跡附シイナ城跡



今帰仁ムラ跡現況



シイナ城跡現況

② 名勝 川平湾及び於茂登岳



名蔵シーラ原（南より撮影）



於茂登岳山頂からの川平湾

8. 新たに国の登録になった文化財

(1) 建造物の登録

① 旧國場家住宅主屋

種 別：登録有形文化財(建造物)

所在の場所：恩納村字山田1437-1

構造・形式：木造平屋建、瓦葺

及び大きさ 建築面積:125㎡

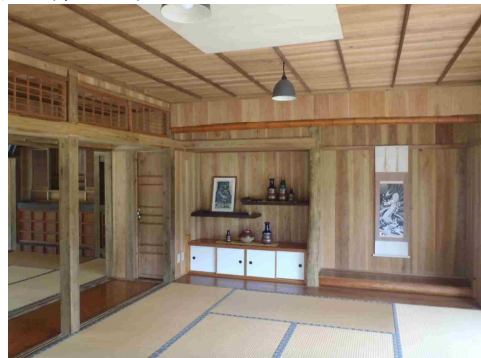
所有者：寺川原株式会社

建築年代：昭和5年

登録基準：2「造形の規範となっているもの」

説明：本建造物は、赤い琉球瓦の入母屋造屋根で、北東を正面として建っている。平面構造は、正面の右側から表に十畳を超える一番座と二番座、三番座、背面に裏座と土間の台所が備わっている。平面構成から軸組まで沖縄地方の伝統的形式であるが、一番座正面に設けられた玄関庇やガラス戸建具は近代的な要素といえる。

官 報 告 示：平成27年8月4日付け文部科学省告示第125号



「写真提供：恩納村教育委員会」

② 石垣やいま村旧大浜家住宅主屋

種 別：登録有形文化財(建造物)

所在の場所：石垣市字名蔵967-1

構造・形式：木造平屋建、瓦葺

及び大きさ 建築面積:145.00㎡

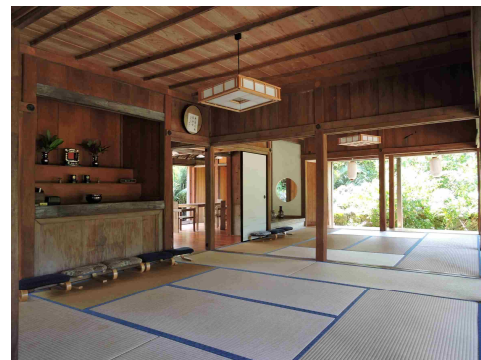
所有者：あやばに株式会社

建築年代：明治40年

登録基準：2「造形の規範となっているもの」

説明：間取りは表座敷として床の間付きの一番座(8畳)、仏間の二番座(8畳)、三番座(6畳)、四番座があり、板の間と台所(トーラ)、庫裏(クール)がある。裏座は3室あり部屋の外側には縁側を配置、庇(雨端:アマハジ)が周囲を取り巻いており、当時の民家としては規模が大きく、典型的な士族の伝統的建築様式の住宅である。

官 報 告 示：平成27年11月17日付け文部科学省告示第181号



「写真提供：石垣市教育委員会」

いしがき わらきゆうきしゃ ぼけじゆうたくしゆおく
③石垣やいま村旧喜舎場家住宅主屋

種 別：登録有形文化財(建造物)

所在の場所：石垣市字名蔵967-1

構造・形式：木造平屋建、瓦葺

及び大きさ 建築面積：118.44㎡

所有者：あやばに株式会社

建築年代：大正12年

登録基準：2「造形の規範となっているもの」

説 明： 建造時の敷地が北側道路に接していた事もあり、北側に玄関を配する形式を持ち、屋根は伝統的木造家屋には珍しい入母屋式である。間取りも独特で、東から二番座（6畳）、一番座（8畳）と4坪の台所（トーラ）そして庫裏（クール）の板の間が続く。このため旧喜舎場家住宅主屋は、その建造年代や意匠からみても、造形の規範となっている。

官 報 告 示：平成27年11月17日付け文部科学省告示第181号



「写真提供：石垣市教育委員会」

(2) 記念物(名勝地関係)の登録

うがんざき
①御神崎

種 別：登録記念物(名勝地関係)

所在の場所：沖縄県石垣市字崎枝屋良部

構成要素：① 古第三系野底層の地質学的価値

② 風衝草地在りなす自然的価値

③ ブナリヌツブルイシ(姉の頭石)など独特な景観とそれに付随した民話等民俗学的価値

④ 古謡・願い口(ニガイフチイ:祭祀行事の際に神へ捧げる祈りの言葉)などに地名が残された民俗学的価値

⑤ 八重山丸遭難者慰霊の碑

⑥ 御神崎灯台(隣接地)

所有者・占有者：石垣市ほか

指 定 基 準：名勝地関係の三(再現することが容易でないもの)

登 録 理 由： 石垣島の最西端にあたる屋良部半島は、周囲を緑色凝灰岩の断崖が取り巻き、海域を挟んで遙か西の彼方に西表島を望める風光明媚な景勝の地である。特に半島北端部の岬は、御神崎の名の下に神が降臨する聖地として石垣島の人々の崇敬を集めてきた。1647年頃の「宮古・八重山両島絵図帳」には「おかみ崎」と表記するが、古謡又は願い口(ニガイフチイ)では「うがんざき」と発音し、他に「ウカン・サキイ」と発音するとの説もある。現在では、「ウガンザキ」以外に「オンザキ」・「オガンザキ」とも発音する。岬の北側約20mの海中に屹立する緑色凝灰岩の岩島の頂部には「ブナリヌツブルイシ(姉の頭石)」と呼ぶ岩があり、大酒飲みの弟を諫めようとした姉が逆に切り付けられ、その頭が動かぬ岩と化したとの民話が伝わる。古謡によると付近の海域は航行の難所としても著名で、御神崎はかつて神女(ツカサ)たちが航海安全の祈願を行う聖地でもあった。石垣島の歴史・文化・伝承を知ることができる風致景観として意義深い事例である。

官 報 告 示：平成27年10月7日付け文部科学省告示第178号

9. 指定文化財管理

(1) 国指定文化財管理事業

① 事業目的

文化財保護法の規定に基づき指定された重要文化財及び名勝等の維持管理の万全を期する。

② 事業内容

1) 防災設備保守点検等

指定文化財である建物等に設置した自動火災報知設備、消火設備など及びこれらに準ずる防災の保守点検等

2) 小修理

指定文化財である建物等の維持管理のための小修理

3) 名勝等庭園の荒廃防止及び民家等の環境整備

ア、名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定、整姿等

イ、指定文化財である民家等の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等

③ 事業主体

沖縄県

④ 事業の実績

(単位:千円)

文化財の種別	名 称	市 町 村	所 有 者	平成27年度 実績額	総事業費	備 考
国 指 定 重 要 文 化 財	中村家住宅	北中城村	中村国宏	295	21,582	(昭55～平27)
	上江洲家住宅	久米島町	上江洲智一	470	18,795	(昭54～平27)
	喜友名泉	宜野湾市	知念清栄他	117	2,107	(平5～平27)
	石垣氏庭園	石垣市	石垣長敏	128	3,524	(平15～平27)
	仲村渠樋川	南城市	仲村渠財産区	156	1,722	(平17～平27)
合 計				1,166	47,730	

10. 文化財愛護事業

(1)「私たちの文化財」図画作品募集

5月中旬～9月下旬の期間募集し、小学校1・2学年46点(14校)、小学校3・4学年98点(31校)、小学校5・6学年130点(29校)、中学校70点(18校)、高等学校10点(4校)、合計354点(64校)の応募があった。

審査会:平成27年10月8日(木)14時～17時30分

那覇教育事務所会議室・生涯学習センター会議室(4階)

南部合同庁舎5階会議室 第2、第3、第4会議室(5階)

審査員:仲間 吉信 (真和志高校 教頭) 新垣 司 (陽明高校 教諭)

伊元 隆一 (開邦高校 教諭) 比嘉 あかね (小禄高校 教諭)

町田 節子 (大平特別支援学校高等部 教諭)

審査結果は下記のとおりで、表彰式を11月4日(水)15時より、県庁舎4階講堂で行い、11月2日(月)～11月6日(金)の期間、県庁舎1階の県民ホールで全入賞作品75点を展示した。

賞	小学校1・2年の部	小学校3・4年の部	小学校5・6年の部
最優秀賞	崎山 実鈴 (兼原小)	與那覇 星 (北中城)	喜納 陽一 (北中城小)
優秀賞	仲程 愛 (カトリック小)	小橋川さくら (カトリック小)	石嶺 真玖史 (カトリック小)
	下地 春音 (カトリック小)	大川 千寿 (普天間小)	島田 ひまり (松田小)
佳作	松原 希依 (カトリック小)	石嶺真麗乙 (港川小)	宮里 あすか (屋部小)
	寄川 桜子 (カトリック小)	西銘 楓 (南風原小)	知念 凜香 (カトリック小)
	田盛 聖羅 (城南小)	知念 琉星 (石嶺小)	玉城 皇 (カトリック小)
	伊佐 美優 (南風原小)	松原 帆風 (小浜小)	名嘉 まりあ (普天間小)
入選	8名	10名	12名

賞	中学校の部	高等学校の部
最優秀賞	生盛 愛彩 (石垣第二中)	永山 辰希 (浦添工業高)
優秀賞	安里 小和 (神森中)	下地 りこ (那覇高)
	嘉手苺 未和 (南風原中)	
	名護 風香 (山内中)	
佳作	比嘉 このか (沖縄東中)	濱川 愛梨 (具志川高)
	田端 エミリ (桑江中)	宜野座 万鈴 (浦添工業高)
	狩俣 日菜子 (西原東中)	渡久山 沙織 (那覇高)
	新村 ひかり (石垣第二中)	
入選	9名	1名

(2)平成27年度文化財保護強調週間ポスター

11月1日～7日の文化財保護強調週間の啓発のため、平成26年度「私たちの文化財」図画作品募集小学生1・2年の部 最優秀作品「首里城まつり」[(上原 和馬さん 沖縄カトリック小学校2年(受賞当時))、並びに、高校生部の最優秀作品「末吉宮」[志喜屋悠乃さん 県立与勝高校1年(受賞当時)]を原画にポスターを作成し、市町村教育委員会、学校、文化財関係施設などに配付した。

11. 世界遺産・無形文化遺産登録関連事業

(1) 事業概要

沖縄県教育委員会では、県内各地に所在する個々の構成資産の一体的な保護を図るため、平成24年度に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」包括的保存管理計画を策定した。平成27年度は、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」包括的保存管理計画の英訳版を作成する。

(2) 事業期間 平成27年度（1年間）

(3) 事業内容 「琉球王国のグスク及び関連遺産群」包括的保存管理計画（平成25年3月）の英訳

(4) 平成27年度実績額 3,963千円

(5) 事業効果について

事業完了により、今後は文化庁及びユネスコと連携し、世界遺産を将来にわたって適切に保全・管理することが可能になる。加えて、同管理計画英語版を県HP等に掲載することで、国内外に向けて本県に所在する世界遺産の保全・活用状況に関する理解促進と情報発信能力の強化にもつながるとともに、有効的な利活用の推進を図ることができる。

12. みんなの文化財図鑑刊行事業

事業総額：14,803千円（国11,842千円、県2,961千円）

事業種別：沖縄振興特別推進交付金

事業主体：沖縄県

事業期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

事業目的：沖縄の歴史・文化への普及・啓発を行うため、国指定文化財、県指定文化財、市町村指定文化財を紹介する書籍、6冊を刊行する。刊行後は、県内の学校及び公立図書館を中心に配布するとともに、ハンドブック版については、観光客へのサービスとして世界遺産などの文化財と関連する施設に配布し、目に触れるようにする。

事業概要：沖縄県の文化財を広く普及するために、「有形文化財編」「無形・民俗文化財編」「史跡・名勝編」「天然記念物編」「埋蔵文化財編」「ハンドブック版」を作成する。初年度は調査・撮影の前段階として、図鑑研究、文化財データの整理、行事の日程等の聞き取り、班会議で編集方針の協議を行った。

実施体制：文化財課で県内の文化財情報の収集、本文の執筆を行う。写真撮影、編集、翻訳については業務委託を行う。



玉陵の撮影風景